





Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 4.2

(ライセンスおよび保証規定を含む)



一般的な電話機の作業

コールの保留と復帰	[ホリユウ]または[フッキ]を押します。
別の番号にコールを転送する	[テンソウ]を押し、転送先の電話番号を入力してから、[テンソウ]をもう一度押します。
リダイヤルする	[リダイヤル]または  を押します。
電話機をミュートにする	[ミュートオン]を押します。マイクをオンにする場合は、[ミュートオフ]を押します。
標準の会議コールを開催する	[カイギ]を押します。番号をダイヤルしてから、[カイギ]をもう一度押します。上の手順を各通話者に繰り返します。
内線の転送	[フザイ]を押します。すべてのコールを転送する相手の番号を入力します。キャンセルするには、[フザイ]を押します。
履歴を使用する	[メニュー]>[デンワリレキ]を選択して、履歴を選択します。ダイヤルするには、リストを強調表示して  を押します。
卓上の電話機と無線電話機間での共有回線のコールの切り替え	アクティブコールに接続している電話機から、[ホリユウ]を押します。もう一方の電話機から、[フッキ]を押してコールに接続します。



Cisco, Cisco IOS, Cisco Systems, および Cisco Systems のロゴは、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0501R)

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.













OL-9473-01-J

















Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 電話ガイド for Cisco Unified CallManager 4.2

電話機の使用
ショートカット キー
ソフトキーの機能
電話スクリーンのアイコン
一般的な電話機の作業

電話機の使用

電話機の電源をオンにする	 (赤色のキー) を押し、電話機の電源がオンになるまで押さえます。
電話機をかける	番号をダイヤルしてから、  緑色のキー) を押します。(ダイヤル トーンはありません)。
コールに応答する	 緑色のキー) を押します。
電話を切る	 (赤色のキー) を押します。
電話の機能にアクセスする	機能に対応する  または  (ソフトキー) を押します。他の機能を表示するには、  または  を使用します。
メニューオプションにアクセスする	メニューを表示するには、  ([メニュー]) を押し、  または  を使用します。
電話機の電源をオフにする	電話機の電源がオフになるまで、  (赤色のキー) を押し続けます。

ショートカット キー

キーパッドをロック / ロック解除する	 (# キー) を押し続けます。  に、キーパッドがロックされたことが示されます。ロックを解除するには、  を押して OK を押します。
呼出音とバイプレーションを切り替える	 (* キー) を押し続けます。「バイプレータオン」というテキストと  が表示されます。呼出音を有効にするには、  を押します。  の表示が消えます。
スピーカのボリュームを調節する	 を押して音量画面にします。  を押して音量を上げるか、  を押してボリュームを下げます。
ボイス メッセージにアクセスする	 をしばらく押し続けて、ボイスメッセージシステムに接続します。
リダイヤルする	 を押して番号をダイヤルします。  を押して番号を探し、  を押し続けます。

ソフトキーの機能










タンシュク	短縮ダイヤルのインデックス番号を使用してダイヤルする
オウトウ	コールに応答する
ワリコミ	共有回線のコールに参加する
オリカエシ	話し中または呼び出し中の内線が対応可能になったときに通知を受信する
キャンセル	変更内容を適用せずに、操作をキャンセルまたは画面を終了する
Cワリコミ	共有回線のコールに参加し、会議を開催する
フザイ	コール転送を設定またはキャンセルする
クリア	レコードまたは設定を削除する
サンカシャ	会議の参加者を表示する
カイギ	会議コールを作成する
サクジョ	編集機能を使用しているときに、カーソルの位置にある文字を削除する
ショウサイ	レコードの詳細を表示する
ダイヤル	電話番号をダイヤルする
Dテンソウ	2つのコールを相互に転送する
ヘンシュウ	履歴の電話番号を編集する
シュウリョウ	現在のコールを切断する
Gピック	他のグループで鳴っているコールに応答する
ソクテンソウ	ボイスメッセージシステムにコールを送信する
サンカ	すでに1つの回線上にある複数のコールをまとめて、1つの会議コールを作成する
メイワクコ	不審なコールを記録する
ミートミー	Meet-Me 会議コールを開催する
メニュー	電話機のメニューにアクセスする
ハッシン	新しいコールを発信する

ミュートオン/ ミュートオフ	コールをミュートする/ミュートをオフにする
ソノタ Grp	自分のグループに関連付けられているグループで鳴っているコールに応答する
パーク	コール パークを使用してコールを保存する
デンワチョウ	電話帳にアクセスする
ピック	自分のグループで鳴っているコールに応答する
ヒンシツ	問題のあるコールに関する情報をシステム管理者に送信する
リダイヤル	最後にダイヤルした電話番号にリダイヤルする
サクジョ	会議の参加者を削除する
フッキ	保留されたコールを復帰する
ドロップ	会議コールに最後に追加された参加者を削除する
ホゾン	選択した設定を保存する
ケンサク	ディレクトリのリストを検索する
サービス	サービス メニューにアクセスする
テンソウ	コールを転送する
コウシン	内容を更新する
ボリューム	スピーカの音量を調節する

短縮ダイヤル ホットキーの使用

短縮ダイヤル ホットキーの 設定	[メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[タンシュクダイヤル]を選択します。✓なしの短縮ダイヤルまでスクロールします。[ショウサイ]を押し、次に[ヘンシュウ]を押し、電話番号を入力します。
短縮ダイヤル ホットキーを 使用する	②(2～9)を押しながら、短縮ダイヤル番号にアクセスします。

電話スクリーンのアイコン

回線とコールの状態	
	コール転送が有効
	コールの保留
	接続コール
	着信コール
	電話回線
その他の機能	
	設定された短縮ダイヤル番号
	設定されたサービス
	メッセージ受信
	選択されたコールまたは機能

電話帳エントリの作成

[メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[ツイカ]を選択します。エントリ項目までスクロールして選択し、[ヘンシュウ]を押します。

キーボードと次のショートカット キーを使用して、名前と電話番号を入力します。

テキスト：番号キーを1～3回押して正しい文字を入力します。スペースの場合は、▶または ▼を押します。

大文字：Ⓜを押して、大文字と小文字を切り替えます。ABCまたは abc が画面の右に表示されます。

番号：番号キーを4回押します。

記号：Ⓜを押して記号表を表示します。矢印を使用して目的の記号まで移動し、[ショウ]を押して挿入します。



Contents

スタートアップガイド	1
このガイドの使用方法	1
その他の情報の入手先	2
Cisco Unified Wireless IP Phone と規制国	2
Web での Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ	2
安全と性能に関する情報	3
バッテリーの安全上の注意事項	4
アクセシビリティ機能	6
電話機の接続	7
電話機のバッテリーの取り付けと取りはずし	7
電話機のバッテリーの充電	9
電話機の電源オン	10
ユーザ名とパスワードの設定	11
Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 のアクセサリ	12
電話機の概要	14
ボタンとハードウェアについて	15
電話スクリーンの機能について	17
機能ボタンとメニューについて	18
電話機のボタンの使用	18
電話メニューの使用	19
電話機の設定	19
回線とコールの違いについて	20

回線とコールのアイコンについて	20
機能の Availability について	21

基本的なコール処理 22

コールの発信：基本オプション	22
コールの発信：追加のオプション	23
コールへの応答	25
コールの終了	26
コールの保留と復帰	26
ミュートの使用	27
複数のコールの切り替え	27
コールの転送	28
すべてのコールの別の電話番号への転送	30
会議コールの使用方法	31
会議コールのタイプについて	31
標準の会議の開催と参加	31
Meet-Me 会議コールの開催または参加	33

応用的なコール処理 34

自分の電話機で他の電話機の着信に应答する	34
共有回線の使用	35
共有回線について	35
共有回線のコールへの参加	36
他者による共有回線のコールの表示および参加の防止	37
パークされているコールの保存と取得	38
不審なコールのトレース	38
重要なコールの優先順位付け	39
Cisco エクステンション モビリティの使用	40

電話帳と短縮ダイヤルの使用方法	41
電話帳の使用方法	42
電話帳のエントリの追加または変更	43
テキストの入力と編集	44
短縮ダイヤル	45
短縮ダイヤル ホットキーの設定	45
短縮ダイヤルとファースト ダイヤルの使用	47
電話機のプロファイルの使用	48
ユーザ プロファイルの選択	48
ユーザ プロファイルの変更	49
ユーザ プロファイルの設定の変更	50
ネットワーク プロファイルの変更	52
電話設定の使用	54
呼び出しのカスタマイズ	54
電話スクリーンのカスタマイズ	56
電話ロックの設定の変更	57
キーパッドの自動ロック設定	58
履歴およびディレクトリの使用	59
履歴の使用	59
ディレクトリからのダイヤル	60
電話機での社内ディレクトリの使用	60
電話機での個人ディレクトリの使用	60
ボイス メッセージへのアクセス	61
ユーザ オプション Web ページへのアクセス	62
ユーザ オプション Web ページへのログイン	63
電話機サービスへの登録	64

その他の設定オプションについて	65
電話機のトラブルシューティング	67
一般的なトラブルシューティング	67
電話管理データの表示	68
Quality Reporting Tool の使用方法	68
シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定	69
索引	



スタートアップ ガイド

このガイドの使用方法

このガイドでは、電話機で使用可能な機能の概要について説明しています。電話機の機能について確実に理解するには、このガイドをよく読んでください。次の表に、よく使用される項目を示します。

目的	操作
重要な安全情報を参照する	P.3 の「安全と性能に関する情報」を参照してください。
電話をネットワークに接続する	P.7 の「電話機の接続」を参照してください。
設置後に電話機を使用する	P.14 の「電話機の概要」を参照してください。
ボタンとメニューについて	P.18 の「機能ボタンとメニューについて」を参照してください。
電話スクリーンについて調べる	P.17 の「電話スクリーンの機能について」を参照してください。
コールを発信する	P.22 の「コールの発信：基本オプション」を参照してください。
コールを保留にする	P.26 の「コールの保留と復帰」を参照してください。
ミュートにする	P.27 の「ミュートの使用」を参照してください。
コールを転送する	P.28 の「コールの転送」を参照してください。
会議コールを発信する	P.31 の「会議コールの使用法」を参照してください。
別の番号にコールを転送する	P.30 の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。
電話番号を共有する	P.35 の「共有回線について」を参照してください。
別の電話機で呼び出し中のコールに応答する	P.34 の「自分の電話機で他の電話機の着信に応答する」を参照してください。
短縮ダイヤルを設定する	P.45 の「短縮ダイヤル」を参照してください。
呼出音の音量やトーンを変更する	P.54 の「電話設定の使用」を参照してください。
不在履歴を表示する	P.59 の「履歴の使用」を参照してください。
ボイスメッセージの聞き取り	P.61 の「ボイスメッセージへのアクセス」を参照してください。
ソフトキーの定義を確認する	このガイドの冒頭にあるクイックリファレンスカードを参照してください。

その他の情報の入手先

WWW 上の次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/>

また、シスコの Web サイトの各国語版へは、次の URL からアクセスできます。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

Cisco Unified Wireless IP Phone と規制国

この電話の無線周波数（RF）は、国ごとの規制に基づき設定されています。この電話をその規制国外で使用した場合は、電話が正しく機能せず、その国の規制に違反する場合があります。

Web での Cisco Unified IP Phone のカスタマイズ

Cisco Unified Wireless IP Phone は、社内のコンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。電話サービスを構築およびカスタマイズし、使用するコンピュータから機能と設定を制御する方法については、次の URL でアクセスする『*Customizing Your Cisco Unified IP Phone on the Web*』を参照してください。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/english/wip7920/index.htm

安全と性能に関する情報

次の安全上の注意事項をお読みになってから、Cisco Unified Wireless IP Phone の設置と使用を始めてください。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策をとるよう努めてください。警告の各国語版を参照するには、各注意事項の番号と、装置に付属の「Translation Safety Warnings」の番号を照らし合せてください。ステートメント 1071

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

システムを電源に接続する前に、取り付け手順をお読みください。



警告

バッテリーチャージャーのプラグとソケットは重要な切断手段となるため、常に手の届く場所に配置してください。



警告

この装置は、通常の操作では商用電源に依存しているため、電源異常時には緊急サービスを利用できません。緊急サービスを利用する場合は、別の手段が必要です。緊急サービスへアクセスする場合、この装置の通話制限機能の影響を受けることがあります。



警告

高濃度の引火性ガスが発生する場所など、危険な環境で Cisco Wireless IP Phone 7920 を使用しないでください。このような環境で無線デバイスを使用する前に、設置場所の安全管理責任者に確認してください。バッテリーチャージャーでは、屋内取り付けの一環として短絡（過電流）保護を行う必要があります。国および各地域の配線規制に準拠して取り付けを行ってください。

バッテリーの安全上の注意事項

次に示すバッテリーの安全上の注意事項は、Cisco Wireless IP Phone 7920 の専用バッテリーに適用されます。



バッテリーの取り扱い方を間違えると破裂、発火の危険があります。バッテリーは、必ずスリットが指定する型番のバッテリーに交換してください。使用済みのバッテリーは、各自治体の条例などに従って廃棄してください。



バッテリーパックを火または水の中に廃棄しないでください。火の中に捨てると、バッテリーが爆発する可能性があります。



バッテリーパックは、この装置だけで使用することを目的としています。



バッテリーパックを分解、粉碎、破壊、または焼却しないでください。



バッテリーパックの発火、消耗、または損傷の危険を防ぐために、バッテリー端子に金属を触れさせないようにしてください。



損傷または漏電したバッテリーの取り扱いには、十分注意してください。電解液に触れた場合は、触れた部分を石鹼と水で洗ってください。電解液が目に入った場合は、水で15分間目を洗い流し、医師の診察を受けてください。



気温が104 °F (40)を超える場合は、バッテリーパックを充電しないでください。

**注意**

バッテリーパックを保管するときは、高温（140 °F、60 超）にさらさないでください。

**注意**

バッテリーパックを廃棄するときは、バッテリーの廃棄またはリサイクルに関する地域の制限について、お住まいの地域の条例などの規則をご確認ください。

**注意**

交換用バッテリーを入手するには、お近くの販売店にお問い合わせください。シスコの部品番号の付いたバッテリーだけを使用してください。

標準バッテリー：CP-BATT-7920-STD

拡張使用バッテリー：CP-BATT-7920-EXT

**注意**

ご使用の電話機に付属しているシスコの電源だけを使用してください。電源を交換する必要がある場合は、シスコの部品番号のリストを参照してください。

北米：CP-PWR-7920-NA

中央ヨーロッパ：CP-PWR-7920-CE

英国：CP-PWR-7920-UK

中国：CP-PWR-7920-CN

日本：CP-PWR-7920-JP

警告の各国語表記については、この製品に付属している『*Regulatory Compliance and Safety Information for the Cisco Wireless IP Phone 7920*』を参照してください。

停電

電話を使用して緊急サービスにアクセスできるかどうかは、電力が供給されている無線アクセスポイントに依存します。電源障害がある場合、電源が復旧するまで、利用および緊急コールサービスダイヤルは機能しません。電源の異常および障害が発生した場合は、装置をリセットまたは再設定してから、利用および緊急コールサービスへのダイヤルを行う必要があります。

外部デバイスの使用

次の情報は、Cisco IP Phone で外部デバイスを使用する場合に適用されます。

シスコでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) がシールドされた高品質の外部デバイス (ヘッドセットなど) の使用を推奨しています。

これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。その場合は、次のいずれかの方法で対処してください。

- RF または AF の信号源から外部デバイスを離す。
- RF または AF の信号源から外部デバイスのケーブルの経路を離す。
- 外部デバイス用にシールドされたケーブルを使用するか、シールドおよびコネクタが高品質のケーブルを使用する。
- 外部デバイスのケーブルを短くする。
- 外部デバイスのケーブルに、フェライトまたは同様のデバイスを適用する。

シスコでは、外部デバイス、ケーブル、コネクタの品質については制御できないため、システムパフォーマンスを保証することはできません。良品質のケーブルおよびコネクタを使用して適切なデバイスを接続すると、十分なシステムパフォーマンスを得られます。



注意

欧州連合諸国では、EMC Directive [89/336/EC] に完全に準拠した外部ヘッドセットだけを使用してください。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能のリストをご希望の場合は、お問い合わせください。

電話機の接続

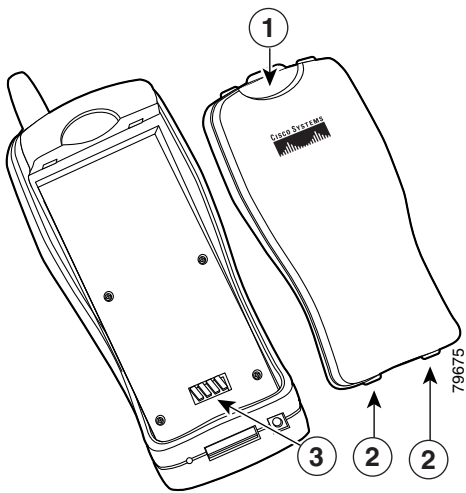
システム管理者は、ユーザの新規 Cisco Unified Wireless IP Phone の設定を行い、社内の Voice over Wireless LAN (VoWLAN) の IP テレフォニー ネットワークに接続します。

電話機のバッテリーの取り付けと取りはずし

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 を使用し始める前に、バッテリーを取り付けて充電する必要があります。

バッテリーの取り付けまたは取り外しを行うには、次の手順を実行します。

目的	操作
バッテリーの取り付け	<ol style="list-style-type: none">1. 電話機の下側にあるスロットに、バッテリーの爪をはめ込みます。バッテリーと電話機の電源端子がそれぞれ向かい合っている必要があります。2. バッテリーが固定されるまで、バッテリーを電話機の本体に押し込みます。
バッテリーの取り外し	<ol style="list-style-type: none">1. 固定している爪を押し下げます。2. バッテリーを持ち上げて取り外します。

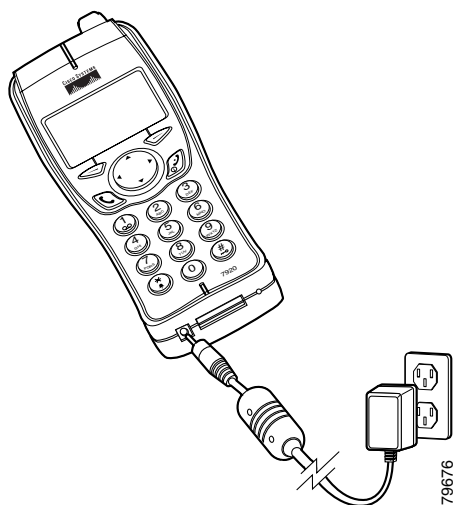


1	固定用の爪：これを押し、バッテリーを取りはずします。
2	バッテリーの爪：バッテリーを取り付けるときには、電話機の下側近くにあるスロットにこれらをはめ込みます。
3	電源端子：バッテリーの端子と電話機の端子が向かい合うようにします。

電話機のバッテリーの充電

充電式のバッテリーにより、Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 に電力が供給されます。バッテリーを充電するには、次の手順を実行します。

目的	操作
バッテリーの充電	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源のケーブルを、電話機のコネクタに接続します。 2. 電源を AC 壁コンセントに差し込みます。バッテリーの充電が始まると、そのことが画面に表示されます。 3. 標準バッテリーの場合は約 3 時間 30 分、拡張バッテリーの場合は約 4 時間 30 分充電します。バッテリーが充電されると、そのことが画面に表示されます。 4. バッテリーの充電が完了したら、電話機からチャージャーを取りはずして、AC 壁コンセントから電源をはずしてください。




ヒント


- 電話機は、バッテリーの電力レベルが低くなるとそれを検出し、アクティブなユーザのプロファイルで指定された警告トーンとともに「デンチザンリョウ(テイ)」という警告メッセージを表示します。
- 標準バッテリーでは、最高 3 時間 30 分の連続通話と 21 時間の連続待ち受けが可能になります。
- 拡張バッテリーでは、最高 4 時間 15 分の連続通話と 30 時間の連続待ち受けが可能になります。
- バッテリーの充電の詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Accessory Guide](#)』の「Desktop Charger」の項を参照してください。

電話機の電源オン

バッテリーを充電後、電話をかけたたり受信したりするには、電話機の電源をオンにする必要があります。




目的	操作
電話機の電源をオンにする	<ol style="list-style-type: none">1. 電話機の電源がオンになるまで、 (赤色のキー) を押したままにします。2. ユーザ名とパスワードを使用して無線ネットワークにアクセスする必要があります。詳細については、P.11 の「ユーザ名とパスワードの設定」を参照してください。3. 認証が完了すると、電話機にメイン画面が表示され、電話を発信または着信できる状態になります。
信号の強度の確認	信号のアイコンには、無線アクセスポイントとユーザの電話機間の信号強度が示されます。電話機でコールを発信または着信するには、2 ~ 6 本のバーが必要です。

ヒント

- 受信する信号が弱いと、電話機には「ジャクシンゴウヲケンシュツシマシタ」という警告メッセージが表示され、アクティブなプロファイルで指定されているトーンまたはバイブレーションが送信されます。詳細については、P.48 の「ユーザ プロファイルの選択」を参照してください。
- 信号の到達範囲外に電話機を移動させると、無線 LAN との通信が失われます。
- 信号の到達範囲内に再び入った場合は、 (緑色のキー) を押せば、無線ネットワークに即座に接続できます。

ユーザ名とパスワードの設定

電話機の電源を最初にオンにしたときに、無線ネットワークにアクセスするためのユーザ名とパスワードを設定しなければならない場合があります。

目的	操作
ユーザ名とパスワードの設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]を押した後に▶を押して[プロフィール]メニューを表示し、[センタク]を押します。 2. [ネットワーク プロファイル]にスクロールして、[センタク]を押します。 3. 現在のプロフィール名(✓が付いている)までスクロールし、[センタク]を押します。 4. [802.11b セッテイ]にスクロールして、[センタク]を押します。 5. EAPまでスクロールして、[センタク]を押します。 6. [ユーザメイ]または[パスワード]までスクロールして、[センタク]を押します。 <p> (注) システムのユーザ名の形式とパスワード情報については、システム管理者にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 7. [ヘンシュウ]を押して、ユーザ名またはパスワードを入力します。これについては、P.43の「電話帳のエントリの追加または変更」を参照してください。 <p> (注) LEAP パスワードは、英数字を使用して 32 文字以内で入力してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 変更を確認するには、OK を押し、[モドル]を 3 回押します。 9. [ヘンコウノテキヨウ]までスクロールし、[センタク]を押して変更内容を有効にします。 10. メイン画面に戻るには、[モドル]またはを押します。

TAPS を使用した登録

電話機をネットワークに接続した後、システム管理者が Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS) を使用して電話機の自動登録を指示する場合があります。TAPS は、新しい電話機にも、既存の電話機を置き換える場合にも使用できます。

TAPS に登録するには、システム管理者から提供された TAPS 内線番号を入力し、ボイス プロンプトに従います。地域コードを含む、完全な内線番号を入力するように指示される場合があります。電話機に確認メッセージが表示されたら、ハンドセットを置きます。電話機が再起動します。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 のアクセサリ

ご使用の電話機では、次の電話アクセサリを使用できます。

- 標準および拡張バッテリー
- 各地域用の電源
- デスクトップチャージャー
- 標準コード式ヘッドセット
- キャリング ケース

アクセサリの一覧については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Accessory Guide](#)』を参照してください。

ヘッドセット情報

ヘッドセットを使用するには、ヘッドセットを電話機の右側にあるヘッドセット ポートに差し込みます。サポートされるヘッドセットの詳細については、『[Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 Accessory Guide](#)』を参照してください。

シスコシステムズでは、Cisco IP Phone で使用するサードパーティ製のヘッドセットについて社内でもテストを実施していますが、ヘッドセットまたはハンドセットのベンダーによる製品の動作の保証やサポートは行っていません。Cisco IP Phone の展開場所では、環境やハードウェアによるそれぞれ固有の不整合が発生する場合がありますので、すべての環境に共通して適用できる「最良の」解決策を 1 つだけ見出すことは不可能です。ネットワークにヘッドセットを多数展開する前に、お客様の環境での使用に最適かどうか、それらのヘッドセットについてテストすることをお勧めします。

ヘッドセットの種類によっては、その機械上または電子上の特性が原因で、Cisco IP Phone ユーザとリモートで会話中の通話相手に、通話相手自身の声の反響が聞こえる場合があります。

シスコシステムズでは、不要な Radio Frequency (RF; 無線周波数) および Audio Frequency (AF; 可聴周波数) が遮蔽された高品質のヘッドセットなどの外部デバイスの使用を推奨しています。これらのデバイスの品質や、携帯電話および双方向ラジオなど他のデバイスとの間隔によっては、雑音が入ることもあります。詳細については、P.6 の「外部デバイスの使用」を参照してください。

一部のヘッドセットが Cisco IP Phone での使用に適さないとされる主な理由は、ハム雑音が入る可能性があるということです。このハム雑音は、リモートの通話相手だけに聞こえる場合も、リモートの通話相手と Cisco IP Phone ユーザの両方に聞こえる場合もあります。ハム雑音やブザーのような雑音は、電灯、近辺にある電気モーター、大型の PC モニタなど、外部ソースに原因があることがあります。

音質に関するユーザの主観

物理的、機械的、および技術的なパフォーマンスより先に、まずヘッドセットによって提供される音が、ユーザとリモートの通話相手にとって良質のものである必要があります。音の品質の判断は主観的なものであるため、シスコでは、特定のヘッドセットやハンドセットのパフォーマンスを保証することはできません。ただし、次に示すサイトに記載されているヘッドセットやハンドセットは、Cisco IP Phone で使用した場合のパフォーマンスが優れていることが報告されています。

しかし、使用する環境でこれらの装置をテストし、適切なパフォーマンスが得られるかどうかを判断するのは、最終的にお客様ご自身の責任になります。

ヘッドセットについては、次の URL を参照してください。

- <http://www.vxicorp.com/cisco>
- <http://www.plantronics.com>

電話機の概要

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 は、コンピュータで使用する同じ無線 LAN で音声通信を行うため機能をすべて搭載した電話機です。この電話機を使用してコールの発信および受信、保留、転送、会議コールの開設などの機能を使用できます。

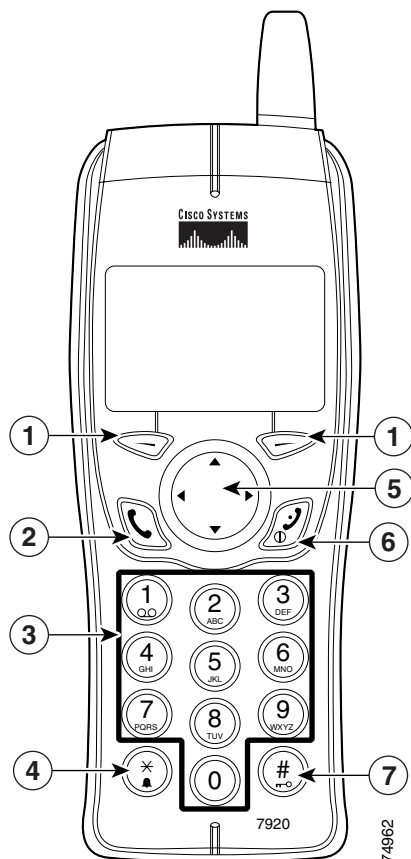
この電話機を使用すると、基本的なコール処理機能に加えて、コール処理機能を拡張し生産性を高めることができます。

設定に応じて、この電話機は次の機能をサポートします。





- 社内ディレクトリ番号への無線アクセス
- ネットワーク データ、XML アプリケーション、および Web ベースのサービスへのアクセス
- ユーザ オプション Web ページを使用した、オンラインによる電話機の機能とサービスのカスタマイズ

ボタンとハードウェアについて

電話機のボタンとハードウェアを次の図に示します。









1		左のソフトキー：ソフトキーの上にあるラベルの項目を有効にします。
		右のソフトキー：ソフトキーの上にあるラベルの項目を有効にします。
2		応答 / 発信キー（緑色）：コールに応答したり、番号をダイヤルしたりします。
3		番号キー（0～9）：番号と文字の入力に使用します。
		番号キー（2～9）：押し続けると短縮ダイヤルホットキーが有効になります。

4		<p>アスタリスク (*) キー：呼び出し音モードとバイブレーションモードを切り替えます。</p> <p>大文字と小文字を切り替えます。P.44の「テキストの入力と編集」を参照してください。</p>
5		<p>矢印キー：ある機能から別の機能に移動します。このマニュアルでは、方向を示す矢印として、▲、▼、◀、または▶を使用します。</p>
6		<p>電源 / 終了キー (赤色)：電話機の電源をオンまたはオフにしたり、呼び出し音を無音にしたり、接続中のコールを終了したりします。P.25の「コールへの応答」を参照してください。</p>
7		<p>シャープ (#) キー：キーパッドのロックとロック解除を切り替えます。</p> <p>テキスト入力時は特殊文字にアクセスできます。</p>

電話スクリーンの機能について

次の図は、アクティブなコールがなく、スタンバイモードになっているときの電話のメイン画面の外観を示しています。ステータス行には、現在のコール状態（たとえば、[オプション] など）についての情報が表示されます。








1		バッテリーアイコン：バッテリーの充電レベルを示します。
2		バイブレーションのアイコン：電話がバイブレーションモードに設定されていることを示します。
3		キーロックアイコン：キーパッドがロックされていることを示します。
4		信号アイコン：信号の強度を示します。
5	3616 3520	内線番号：各電話回線を識別します。
6		右ソフトキーラベル：[デンプジョウ] または [サービス] が表示され、通話中は機能ソフトキーが表示されます。
7		左ソフトキーラベル：[メニュー] を表示し、通話中は機能またはアクションソフトキーを表示します。
8	CISCO	初期画面メッセージ：電話の電源をオンにすると画面にテキストが表示されます。このテキストの内容は編集できます。P.56 の「電話スクリーンのカスタマイズ」を参照してください。

機能ボタンとメニューについて

電話のボタンは電話機能へのショートカットとして使用できます。[メニュー]ソフトキーからは、設定および電話機能の電話メニューにアクセスできます。

電話機のボタンの使用

電話機のキーパッドは、頻繁に使用される次の機能へのショートカットとして使用できます。


目的	操作	参照先または問い合わせ先
電話機のキーパッドのロックまたはロック解除	<p>① キーを押し続けます。画面に「キーロック オン」と表示され、メイン画面の上側に  アイコンが表示されます。</p> <p>② キーを押し続けます。画面に「キーロック オフ？」と表示されます。OK を押すと  アイコンの表示が消えます。</p>	キーパッドの自動ロック設定 (P. 58)
呼出音モードとバイブレーションモードの切り替え	<p>① キーを押し続けます。画面に「バイブレータ オン」と表示され、上部に  アイコンが表示されます。</p> <p>呼び出し音モードに切り替えるには、② キーを押し続けます。画面に「バイブレータ オフ」と表示され、 アイコンが消えます。</p> <p>デフォルトの設定は「呼び出し音モード」です。</p>	呼び出しのカスタマイズ (P. 54)
ボイスメッセージの聞き取り	① キーをしばらくの間押してから離します。電話機がボイスメッセージシステムに接続されます。	ボイスメッセージへのアクセス (P. 61)
短縮ダイヤル番号へのアクセス	使用する短縮ダイヤル番号に対応する ② または別の数字キー (2 ~ 9) を押し続けます。	短縮ダイヤル (P. 45)
コール中の音量の変更	▲ を押して、プライマリ回線のコールのスピーカ音量を調節します。	
コールの音量の変更	<ol style="list-style-type: none">[ボリューム] と表示されるまで、◀ または ▶ を押します。[ボリューム] を押してスピーカの音量画面にアクセスします。音量を上げる場合は ▶ を押し、下げる場合は ◀ を押します。 <p> (注) 調節された音量の設定は、電話機の電源をオフにするまでそのままです。</p>	ユーザプロフィールの設定の変更 (P. 50)

ヒント

電話機の電源をオフにした後もスピーカ音量の設定を維持するには、ユーザ プロファイルの音量設定を変更する必要があります。P.50の「ユーザ プロファイルの設定の変更」を参照してください。

電話メニューの使用

電話の機能と設定の電話メニューにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. 電話メニューにアクセスするには、[メニュー] ソフトキーを押します。
2. 目的のメニューを表示するには、◀または▶を押します。
3. メニューのオプションを表示するには、[センタク] ( を使用) を押します。
4. オプション間をスクロールするには、▲または▼を使用します。
5. [ディレクトリ] メニューの [タンシュク ダイヤル] などのメニュー オプションを選択するには、[タンシュク ダイヤル] にスクロールして [センタク] を押します。

メニューの使用方法的詳細については、次のリストを参照してください。

メニュー	参照先または問い合わせ先
ディレクトリ	電話帳と短縮ダイヤルの使用方法 (P. 41)
メッセージ	ボイス メッセージへのアクセス (P. 61)
デンワリレキ	履歴の使用 (P. 59)
プロファイル	電話機のプロファイルの使用 (P. 48)
サービス	電話機サービスへの登録 (P. 64)
デンワノセッテイ	電話設定の使用 (P. 54)
ネットワークノセッテイ	電話管理データの表示 (P. 68)

電話機の設定

電話スクリーンおよび電話機は、柔らかく乾いた布で軽く拭きます。電話機に液体や粉がかからないようにしてください。柔らかく乾いた布以外で拭くと、電話機の部品が汚れたり、故障したりする可能性があります。

回線とコールの違いについて

ここでは、回線とコールの混同を避けるため、この2つの違いを説明します。

- 回線：電話をかける際に使用する電話番号に対応します。Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 は、6回線までサポートします。電話機に割り当てられた回線の数、電話スクリーンの右側で確認します。割り当てられたディレクトリ番号と同じ数の回線を使用できます。
- コール：1回線で複数のコールをサポートできます。電話機は、回線あたり2つまでのコールの接続をサポートしますが、システム管理者は、ユーザの必要に応じてコール数を調整することができます。アクティブとなり得るコールは常に1つに限定されるので、他のコールはすべて自動的に保留状態になります。



(注) 画面に表示できるのは、4つの回線またはコールだけです。それ以上の回線またはコールを表示するには、スクロールする必要があります。

回線とコールのアイコンについて

電話機には、回線とコールの状態を示すアイコンが表示されます。

アイコン	回線またはコールの状態	説明
	オンフック回線	この回線には、コール アクティビティがありません。
	接続コール	通話相手に接続されている状態です。
	着信コール	いずれかの回線でコールの呼出音が鳴っています。
	コールの保留	コールが保留されています。P.26の「コールの保留と復帰」を参照してください。
	コール転送が有効	プライマリ回線を転送しました。P.30の「すべてのコールの別の電話番号への転送」を参照してください。

機能の Availability について







Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 の操作方法および利用可能な機能は、お客様の社内で使用されるコール処理エージェント、またお客様の社内の電話機サポート チームが電話機システムを設定した内容により異なることがあります。このため、このガイドに記載されている機能の一部がお使いの電話機システムで利用できない、または動作が異なる場合があります。操作方法や機能の Availability の詳細については、お客様の社内のサポート デスクまたはシステム管理者にお問い合わせください。

基本的なコール処理

基本的なコール処理は、さまざまな機能とサービスを使用して行うことができます。機能のオペラビリティは異なることがあります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。






コールの発信：基本オプション


Cisco Unified Wireless IP Phone には、次のように、簡単に電話をかける方法がいくつか用意されています。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
電話機をかける	<ol style="list-style-type: none">1. 電話番号のダイヤル2. 発信するには  緑色のキー) を押します。 <p> (注) <u>ダイヤルトーンはありません。</u></p>	電話機の概要 (P. 14)
リダイヤルする	▶ を押して [リダイヤル] を表示してから、[リダイヤル] を押して電話をかけます。	
別のコールがアクティブなときにコールを発信する (同じ回線を使用)	<ol style="list-style-type: none">1. [ホリユウ] を押します。2. ◀ を押すか、▶ を押して [ハッシン] を表示します。3. 番号をダイヤル、リダイヤル、または短縮ダイヤルします。	コールの保留と復帰 (P. 26)
通話履歴ログからのダイヤル	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] > [デンワリレキ] > [フザイレキ] [チャクシンリレキ] または [ハッシンリレキ] を選択します。2. ▼ を押してリストを選択します。3.  を押して電話をかけます。	履歴の使用 (P. 59)
発信履歴のリストにある番号のリダイヤル	<ol style="list-style-type: none">1.  を押してリストを表示します。2. 目的の番号までスクロールし、 を押して電話をかけます。 <p> (注) <u>発信履歴のリストには、10 レコードが保存されます。</u></p>	履歴の使用 (P. 59)


コールの発信：追加のオプション

電話機に特別な機能やサービスが用意されていれば、それらを使用してコールを発信することができます。このような追加のオプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> 1. [ホリユウ] を押します。 2. 電話番号を入力します。 3. ▼を押して別の回線に変更します。 4.  を押して電話をかけます。 	コールの保留と復帰 (P. 26)
セカンダリ回線での発信	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号を入力します。 2. ▼を押して別の回線に変更します。 3.  を押して電話をかけます。 	短縮ダイヤル (P. 45)
ローカルの電話帳にある番号のダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1. [デンワチョウ] を押します。 2. 目的のエントリまでスクロールします。 3.  を押して番号をダイヤルします。 	電話帳の使用法 (P. 42)
短縮ダイヤルホットキーによる電話番号の短縮ダイヤル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 使用する短縮ダイヤル番号に対応する  (2 ~ 9 のキー) を押し続けます。 2. 該当のホットキーに保存されている番号が表示されます。 3. ボタンを放すと、その番号がダイヤルされます。 	短縮ダイヤルホットキーの設定 (P. 45)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [ディレクトリ] > [シャナイディレクトリ] (名前は異なる場合があります) を選択します。 2. キーパッドを使用して名前を入力します。 3. [ケンサク] を押します。 4. リストまでスクロールし、[ダイヤル] または  を選択します。 	電話機での社内ディレクトリの使用 (P. 60)
Cisco WebDialer を使用して、コンピュータの社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. Web ブラウザを起動して、WebDialer が有効な社内ディレクトリのページへ移動します。 2. ダイヤルする番号をクリックします。 	『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』 (http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_iphone/index.htm)





目的	操作	参照先または問い合わせ先
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼び出し中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに【オリカエシ】を押します。 2. 次に電話を切ります。回線が利用できるようになると、電話機に通知されます。 3. もう一度コールを発信します。 	システム管理者
プライオリティ (Precedence) コールを発信する	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P. 39)
個人アドレス帳(PAB)のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【メニュー】>【サービス】>PAB service を選択します。 2. リストを強調表示時、を押します。 	ユーザ オプション Web ページへのアクセス (P. 62)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話番号をダイヤルします。 2. トーンが聞こえたら、ユーザ固有のコードである Client Matter Code (CMC) または認証に必要な Forced Authorization Code (FAC) を入力します。 	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【メニュー】>【サービス】>EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。 2. ログイン情報を入力します。 	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P. 40)

ヒント

- ダイヤルを間違えた場合は、【クリア】を押して1つまたは複数の数字を消します。
- 最後の番号をリダイヤルするには、を2回押すこともできます。


コールへの応答

コールに応答するには、単純にハンドセットを取り上げるか、電話機に他にオプションが用意されていれば、それらを使用します。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
コールに応答する	着信コールに接続するには、  (緑色のキー) を押して離します。	
着信コールの呼び出し音の無音化	呼び出し音を無音にするには、  (赤色のキー) を押します。 コールは無音のまま続き、その後、ボイスメッセージや別の電話機など、無応答の場合の宛先に転送されます。	
接続中のコールから呼び出し中のコールへの応答	[アウトウ] または  (緑色のキー) を押します。この操作を行うと、新しいコールに応答し、自動的に最初のコールを保留にできます。	コールの保留と復帰 (P. 26)
コール ウェイティングを使用して応答する	[アウトウ] を押します。	コールの保留と復帰 (P. 26)
ボイス メッセージ システムに直接コールを送信する	[ソクテンソウ] を押します。	ボイス メッセージへのアクセス (P. 61)
着信コールを自動接続する	自動応答を使用します。	コールへの応答 (P. 25)
パークされたコールを別の電話で取得する	コール パークとダイレクト コール パークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P. 38)
自分の電話機を使用して別の場所で鳴っているコールに応答する	コール ピックアップを使用します。	自分の電話機で他の電話機の着信に応答する (P. 34)
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断し、 [アウトウ] を押します。	重要なコールの優先順位付け (P. 39)
呼び出し音が 1 回または 2 回鳴った後の着信コールへの自動接続	自動応答機能の設定をシステム管理者に依頼します。  を押さなくても、呼び出し音が 1 回または 2 回鳴った後で、コールは通話者に接続されます。	


コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。詳細を次に示します。


目的	操作
コールの終了	【シュウリョウ】または  (赤色のキー) を選択して電話を切ります。
1つのコールだけを切断し、同じ回線のもう一方のコールを維持する	【シュウリョウ】を押します。必要に応じて、コールの保留を解除しておきます。

コールの保留と復帰

コールは、保留したり復帰したりすることができます。

目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none">保留状態にするコールが強調表示されていることを確認します。【ホリユウ】を押します。
現在の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">保留を解除するコールが強調表示されていることを確認します。【フッキ】を押します。
別の回線にあるコールの保留を解除する	<ol style="list-style-type: none">▼を押して別の回線に変更します。【フッキ】を押します。 <p> (注) この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。もう一方のコールが保留になっている場合は、該当するコールまでスクロールし、【フッキ】を押します。</p>
無線電話機と卓上電話機間での共有回線のコールの切り替え	<ol style="list-style-type: none">アクティブコールに接続している電話機から【ホリユウ】を押します。共有回線に接続している他の電話機で、【フッキ】を押します。

ヒント

- ・ コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やピープ音が流れます。
- ・ 保留状態のコールは、コール表示中の保留を示すアイコン  によって示されます。

ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュート機能は、電話機またはイヤホンで使用できます。

目的	操作
ミュートをオンにする	通話中に [ミュートオン] を押します。ラベルが [ミュートオフ] に変わります。
ミュートをオフにする	[ミュートオフ] を押します。ラベルが [ミュートオン] に変わります。

複数のコールの切り替え

1 本または複数の回線上で複数のコールを切り替えることができます。切り替え先のコールが電話スクリーンで自動的に強調表示されない場合は、そのコールまでスクロールします。




目的	操作
同じ回線上で接続されている複数のコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> 切り替え先のコールが強調表示されていることを確認します。 [フッキ] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。
異なる回線上で接続されているコールを切り替える	<ol style="list-style-type: none"> ▼を押して別の回線に変更します。 この回線で保留になっているコールが1つの場合、コールは自動的に復帰します。もう一方のコールが保留になっている場合は、該当するコールを強調表示して、[フッキ] を押します。
接続中のコールから呼び出し中のコールへの応答	[アウトウ] を押すか、別の回線でコールの呼出音が鳴っている場合は、▼を押して他の回線に切り替え、[アウトウ] を押します。 アクティブなコールが保留になり、選択されたコールが復帰します。

ヒント

- 電話機は、6本の回線まで対応しますが、電話機の画面に表示されるのは4本の回線までです。他の回線を表示するには、▼を押す必要があります。
- 電話機は、回線あたり2つのコールまで対応できます。

コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。転送先は、コールの転送先となる電話番号です。


目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、▶を押して【テンソウ】を表示します。2. 【テンソウ】を押し、転送先の番号を入力します。3. 【テンソウ】をもう一度押して転送を完了するか、【シュウリョウ】を押し、転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none">1. アクティブなコールから、▶を押して【テンソウ】を表示します。2. 【テンソウ】を押し、転送先の番号を入力します。3. 相手が応答するのを待ちます。4. 【テンソウ】をもう一度押して転送を完了するか、【シュウリョウ】を押し、転送を取り消します。 <p> (注) 電話機がオンフック転送をサポートしている場合は、代わりに切断して転送を完了することもできます。</p>
通信を継続せずに、2つの現在のコールを相互に転送する (直接転送)	<ol style="list-style-type: none">1. その回線上の任意のコールをスクロールして強調表示します。2. 【センタク】を押します。3. 2番目のコールに対しても同じ処理を行います。4. 選択したコールのいずれかを強調表示させた状態で、▶を押して【Dテンソウ】を表示し、【Dテンソウ】を押します。 <p>2つのコールが相互に接続され、自分のコールは終了されます。</p> <p> (注) 発信者との通信を継続する場合は、代わりに【サンカ】を使用します。</p>
ボイスメッセージシステムにコールをリダイレクトする	<p>▶を押して【ソクテンソウ】を表示させてから、これを押します。</p> <p>コールがボイスメッセージグリーティングに自動転送されます。【ソクテンソウ】は、アクティブなコール、呼び出し中のコール、保留中のコールに使用できます。</p>


ヒント

- オンフック転送が電話機で有効になっている場合は、切断してコールを完了するか、または[**テンソウ**]を押してから切断することができます。
- オンフック転送が電話機で有効になっていない場合は、[**テンソウ**]を押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
- [**テンソウ**]を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。[**フッキ**]を押して、転送前にコールの保留を解除してください。

すべてのコールの別の電話番号への転送

[フザイ]を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
プライマリ回線のコール転送を設定する	<ol style="list-style-type: none">▶を押して[フザイ]を表示します。[フザイ]を押します。転送先の電話番号を入力します。
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	<ol style="list-style-type: none">▶を押して[フザイ]を表示します。[フザイ]を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	ステータス行にあるコールの転送先電話番号、およびプライマリ回線の横にある  アイコンを見つけます。
任意の回線のコール転送の設定またはキャンセル	<ol style="list-style-type: none">ユーザ オプション Web ページにログインします。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。[すべてのコールを別の番号に転送]を選択します。プライマリ回線またはセカンダリ回線を選択します。

 **(注)** コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。その代替りとして、ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。

ヒント

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することができます（ただし、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります）。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線の転送条件を変更することができます。

会議コールの使用方法

Cisco IP Phone では、3 名以上を 1 台の電話機の会話に参加させ、会議コールを作成できます。

会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の会議と Meet-Me 会議の 2 つのタイプがあります。

標準の会議コール

標準の会議コールは、必要性や電話機で利用できるソフトキーに応じて、次のように複数の方法で作成できます。

- **[カイギ]**: このソフトキーは、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催するときに使用します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で利用可能なデフォルトの機能です。
- **[サンカ]**: このソフトキーは、すでに同じ 1 本の回線にある複数のコールを結合して標準の会議コールを開催するときに使用します。
- **[Cワリコミ]**: このソフトキーは、共有回線の既存のコールに自分を追加し、そのコールを標準の会議コールに切り替えるときに使用します。この機能は、共有回線を使用する電話機でのみ利用できます。

手順の詳細については、P.31 の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。

Meet-Me 会議コール




Meet-Me 会議コールは、指定された時刻に Meet-Me 電話番号に発信して作成します。

手順の詳細については、P.33 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。

標準の会議の開催と参加

標準の会議では、1 つのコールに 3 名以上の参加者が 1 つのコールで会話できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> • 参加者に発信して会議コールを作成する • 複数の会議コールに新しい参加者を追加する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続されたコールで、▶を押して [カイギ] を表示します。 2. [カイギ] を押します。 3. 参加者の電話番号を入力します。 4. コールが接続されるのを待ちます。 5. [カイギ] をもう一度押して、参加者をコールに追加します。 6. この操作を繰り返して、参加者を 1 人ずつ追加します。




目的	操作
複数の既存のコールを結合して、会議コールを作成する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1本の回線に複数のコールがあることを確認します。 2. 会議コールに追加するコールを強調表示します。 3. [センタク]を押します。 選択されたコールがこのアイコン  を表示します。 4. 追加するすべてのコールについて、それぞれ同じ処理を行います。 5. 選択したコールから、▶を押して[サンカ]を表示し、それを押します。 <p> (注) アクティブなコールが自動的に選択されます。</p>
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
共有回線でコールに割り込んで、会議コールを作成する	共有回線でコールを強調表示し、 [C ワリコミ] を押します（必要に応じて、▶を押して [C ワリコミ] を表示します） P.35の「共有回線の使用」を参照してください。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクティブな会議を強調表示します。 2. [サンカシャ]を押します（必要に応じて、▶を押して[サンカシャ]を表示します） 会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。
参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 [コウシン] を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク(*)の付いた人物）を検索します。
会議に最後に追加された参加者を削除する	[ドロップ] を押します。 参加者を削除できるのは、会議コールの開催者だけです。
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加者の名前を強調表示します。 2. [サクジョ]を押します。 参加者を削除できるのは、会議の開催者だけです。
会議への参加を終了する	[シュウリョウ] または  （赤色のキー）を選択します。

ヒント

- 会議に複数のコールを追加するには、それらのコールが同じ回線にある必要があります。コールがそれぞれ異なる回線にある場合は、それらのコールを1本の同じ回線に転送してから [カイギ] または [サンカ] を押します。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開催した後でその会議を切断すると、会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号をダイヤルして、会議を開催または会議に参加します。

目的	操作
Meet-Me 会議を開催する	<ol style="list-style-type: none"> 1. システム管理者から Meet-Me 電話番号を取得します。 2. 取得した番号を参加者に通知します。 3. ミーティングを開始する準備ができたなら、▶を押して [ミートミー] を表示し、[ミートミー] を押します。 4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。 5.  緑色のキー) を押します。 参加者は、ダイヤルインで会議に参加できます。 <p> (注) 開催者が参加する前に、参加者が会議にコールした場合、その参加者にはビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>Meet-Me 会議番号をダイヤルします (この番号は会議の開催者から提供されます)。</p> <p> (注) 開催者がダイヤルインする前に、会議にコールした場合、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度発信し直す必要があります。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議は自動的に終了しません。</p>

応用的なコール処理

応用的なコール処理のタスクには、特別な機能が伴うため、コール処理の需要や作業環境に応じて、システム管理者に電話機の設定を依頼します。

自分の電話機で他の電話機の着信に应答する

コール ピックアップを使用すると、呼び出し中のコールをご使用の電話機にリダイレクトして同僚の電話機でコールに应答できます。コールピックアップは、同僚とコール処理を共有している場合に使用できます。

目的	操作
同じコールピックアップグループ内の別の内線を呼び出しているコールに应答する	<ol style="list-style-type: none">1. [ピック]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します。(必要に応じて、▶を押して[ピック]ソフトキーを表示します)。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。2. コールが鳴っている場合、[オウトウ]を押してコールに接続します。
グループ外の内線で鳴っているコールに应答する	<ol style="list-style-type: none">1. [Gピック]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します(必要に応じて、▶を押して[Gピック]ソフトキーを表示します)。2. グループピックアップのコードを入力します。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。3. コールが鳴っている場合、[オウトウ]を押してコールに接続します。
自分のグループ内または関連付けられているグループ内の内線で鳴っているコールに应答する	<ol style="list-style-type: none">1. [ソノタ Grp]ソフトキーが表示されている場合は、それを押します(必要に応じて、▶を押して[ソノタ Grp]ソフトキーを表示します)。電話機が自動ピックアップをサポートしている場合は、これだけでコールに接続されます。2. コールが鳴っている場合、[オウトウ]を押してコールに接続します。

ヒント

- 電話機の設定によっては、自分のピックアップグループについて、電話機にメッセージが表示されたり、呼出音が鳴ったりすることがあります。
- **[ピック]**と**[Gピック]**を押すと、最も長くなり続けているコールに接続します。

- [ソノタ Grp]を押すと、プライオリティの最も高いピックアップグループ内のコールに接続します。
- 複数の回線があり、プライマリ回線以外の回線でコールに応答する場合は、まず ▶ を押してピックアップする回線に切り替え、それからコールピックアップのソフトキーを押します。

共有回線の使用

次の場合に、システム管理者が共有回線を設定することがあります。

- 複数の電話機で1つの電話番号を使用する場合
- 同僚とコール処理タスクを共有する場合
- マネージャに代わってコールを処理する場合

共有回線について

リモートで使用中

「リモートで使用中」のメッセージは、回線を共有している他の電話機に接続コールがあり、プライバシー機能が無効になっている場合に、Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 に表示されます。共有回線で通常どおりコールを発信したり、受信したりできます。「リモートで使用中」のメッセージが表示されている場合も同様です。

コール情報の共有と割り込み

回線を共有している電話機には、共有回線上の発信コールや受信コールに関する情報が表示されます。この情報には、発信者 ID および 通話期間が含まれます。(例外については、プライバシーのセクションを参照)。

コールに関する情報がこのように表示されている場合、回線を共有しているユーザ同士は、[ワリコミ] または [C ワリコミ] を使用して、コールに参加することができます。P.36の「共有回線のコールへの参加」を参照してください。

ワリコミ：組み込みブリッジを有効にしている IP 電話との共有回線のコールに参加できます。割り込み機能を使用して、他の Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 との共有回線のコールに参加することはできません。

C ワリコミ：任意の IP 電話との共有回線のコールに参加し、コールを会議に切り替えることができます。

プライバシー

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 では、プライバシー機能がデフォルトで有効になっています。回線を共有している同僚の画面に、ユーザのコールに関する情報を表示するには、ユーザの電話機でプライバシー機能を有効にする必要があります。P.37の「他者による共有回線のコールの表示および参加の防止」を参照してください。




(注) Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 は、1本の共有回線で最大2件のコールをサポートできません。

共有回線のコールへの参加

電話機の設定に応じて、割り込みまたはC割り込みのいずれかを使用して、コールに参加できます。

目的	操作
共有回線が使用中かどうかを確認する	「リモートで使用中」のメッセージが表示されているどうかを確認する
[フリコミ]ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [フリコミ]を押します（必要に応じて、▶を押して[フリコミ]を表示します）。 他の参加者に対して自分の割り込みを知らせるピープ音が鳴ります。
[Cフリコミ]ソフトキーを使用して共有回線のコールに参加する	<ol style="list-style-type: none">1. リモートで使用中のコールを強調表示します。2. [Cフリコミ]を押します。（必要に応じて、▶を押して[Cフリコミ]を表示します）。 他の参加者にトーンと短い中断音が聞こえ、電話画面のコール情報が変更されます。
割り込んだコールに新しい会議参加者を追加する	可能であれば、[Cフリコミ]を使用してコールに割り込みます。 C割り込み機能を使用すると、コールが標準の会議コールに切り替えられ、新しい参加者を追加できるようになります。P.31の「会議コールの使用法」を参照してください。
共有回線のコールを他方の電話機に切り替える	[ホリユウ]を押します。同じ共有回線に接続している他の電話機で、[フツキ]を押します。



目的	操作
割り込んだコールから離脱する	<p>[シュウリョウ] または  (赤色のキー) を選択します。</p> <p>割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、他の参加者に切断音が聞こえ、元のコールは続行します。</p> <p>C 割り込み機能を使用した後、コールを切断すると、3 名以上の参加者が回線に残っている場合に限り、そのコールは会議コールとして続行します。</p>

ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっている場合、回線を共有している他の電話機に、コールに関する情報と割り込みのソフトキーが表示されません。
- コールが保留状態になるか、転送されるか、または電話会議に切り替えられた場合、[ワリコミ] を使用して参加しているコールから、ユーザは切断されます。

他者による共有回線のコールの表示および参加の防止

電話回線を共有する場合、プライバシー機能を使用して、回線を共有する他者が自分のコールを参照したり、コールに割り込んだり（参加したり）できないようにすることができます。

目的	操作
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを防止する	<ol style="list-style-type: none"> [ヒツウチ] を押します。 プライバシー機能が有効であることを確認するには、電話番号の横にプライバシー機能有効アイコン  が表示されていることを確認します。
他者が共有回線のコールを表示したり、コールに割り込んだりするのを許可する	<ol style="list-style-type: none"> [ヒツウチ] を押します。 プライバシー機能が無効であることを確認するには、電話番号の横にプライバシー機能無効アイコン  が表示されていることを確認します。


ヒント

- 回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールの発信や受信ができます。
- プライバシー機能は、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。したがって、複数の共有回線が割り当てられている場合にプライバシー機能を有効にすると、自分が共有している回線すべてにおいて、同僚がコールを表示したりコールに割り込んだりすることを防止できます。

パークされているコールの保存と取得

コールをパークすると、コールを保存し、Cisco Unified CallManager システムの別の電話機（会議室の電話機など）でコールを取得できます。

[パーク] ソフトキーを使用してコールを保存し、コールをパークできます。電話機に、システムがコールを保存したコール パーク番号が表示されます。この番号を記録しておき、同じ番号を使用してコールを取得する必要があります。

目的	操作
コールパークを使用してアクティブなコールを保存する	<ol style="list-style-type: none">1. コール中に [パーク] を押します（必要に応じて、▶を押して [パーク] を表示します）。2. 電話機のスクリーンに表示されたコールのパーク番号を書き留めます。3.  (赤色のキー) を押します。
パーク中のコールの取得	ネットワーク内の任意の Cisco IP Phone でコールのパーク番号を入力し、コールに接続します。

ヒント

パークされているコールを取得するまでの時間は制限されていて、その時間を過ぎると元の番号に戻って呼出音が鳴ります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

不審なコールのトレース

不審または迷惑なコールを受信している場合、システム管理者は、電話機に Malicious Call Identification (MCID) 機能を追加できます。この機能を使用するとアクティブなコールと不審なコールとを見分けることができます。その結果、一連のトラッキングと通知のメッセージが自動的に発信されます。

目的	操作
不審なコールや嫌がらせコールをシステム管理者に通知する	<p>[メイワクコ] を押します。(必要に応じて、▶を押して [メイワクコ] を表示します)</p> <p>トーンが鳴り、「メイワクコガセイコウシマシタ」というメッセージが表示されます。</p>

重要なコールの優先順位付け

政府機関や軍事施設のような特別な環境では、緊急または重要なコールを発信および受信しなければならない場合があります。この特別なコール処理が必要な場合は、電話機への Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) の追加をシステム管理者に依頼します。

次の用語に留意してください。

- *Precedence* : コールに関連付けられたプライオリティを示します。
- *Preemption* : プライオリティの低い既存のコールを終了して、電話機に送信されたプライオリティのより高いコールを受け入れる処理です。

目的または状態	操作
発信コールのプライオリティレベル (Precedence) を選択する	対応するコールの Precedence 番号のリストについては、システム管理者にお問い合わせください。
プライオリティ (Precedence) コールをかける	電話番号の前に、システム管理者から提供された MLPP アクセス番号を入力します。
特別な呼出音 (通常より速い) または特別なコールウェイトニングのトーンが鳴る	プライオリティ (Precedence) コールを受けていることを意味します。コールのプライオリティレベルは、電話スクリーン上の MLPP アイコンによって示されます。
コールのプライオリティレベルを確認する	電話スクリーン上の MLPP アイコンを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ プライオリティ コール ▣ 中程度のプライオリティの (即時) コール ▢ プライオリティの高い (フラッシュ) コール ▣▣ プライオリティの最も高い (フラッシュ オーバーライド) コール、つまりエグゼクティブ オーバーライド コール より高いプライオリティのコールが、コールリストの先頭に表示されます。MLPP アイコンが表示されていない場合、コールのプライオリティレベルは通常 (ルーチン) です。
プライオリティのより高いコールを受け入れる	コールに通常どおり応答します。必要に応じて、アクティブなコールを先に終了します。
コール中に連続したトーンが聞こえる	自分または通話相手が、現在のコールより優先されるべきコールを受信しています。すぐに切断し、プライオリティのより高いコールの呼出音が鳴るようにします。

ヒント

- MLPP が有効なコールを発信または受信すると、標準のトーンとは異なる特別な呼出トーンとコール待機のトーンが鳴ります。
- 無効な MLPP アクセス番号を入力すると、音声通知でエラーを警告されます。

Cisco エクステンション モビリティの使用

Cisco エクステンション モビリティ (EM) を使用すると、Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。EM にログオンすると、電話機に自分のユーザ プロファイル (電話回線、機能、設定されているサービス、Web ベースの設定など) が適用されます。システム管理者に、EM を自分用に設定してもらう必要があります。

目的	操作
EM にログインする	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[サービス]>EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得) を入力します。3. プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。
EM からログアウトする	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[サービス]>EM Service を選択します (名前は異なる場合があります)。2. ログアウトの確認を求められたら、Yes を押します。

ヒント

- 一定の時間が経過すると、EM から自動的にログアウトされます。この制限時間は、システム管理者が設定します。
- ユーザ オプション Web ページから EM プロファイルに対して行った変更は、次回、電話機の EM にログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御されている設定は、EM プロファイルには保存されません。

電話帳と短縮ダイヤルの使用方法

[ディレクトリ] メニューを利用すると、次の機能を使用できます。




- 個人の電話帳：電話機に保存された連絡先情報
- 短縮ダイヤル：キーパッドからアクセスする短縮ダイヤル番号
- 社内ディレクトリ：社内の電話ディレクトリにアクセス

次のセクションを参照して、これらの機能を設定および使用します。

- 電話帳の使用方法 (P. 42)
- 短縮ダイヤル (P. 45)

電話帳の使用方法

電話帳メニューを使用して、電話帳のエントリを表示、そのエントリにダイヤル、または編集します。

目的	操作
電話帳の参照とエントリのリストの表示	<p>[デンワチョウ] を押します。エントリ名が表示されます。</p> <p>電話帳エントリが存在しない場合は、「クウハク」と表示されます。</p> <p> (注) ご使用の電話機には、[デンワチョウ] ソフトキーの代わりに [サービス] ソフトキーが表示される場合があります。その場合、電話帳エントリにアクセスするには、[メニュー] > [ディレクトリ] > [デンワチョウ] を選択する必要があります。</p>
電話帳のエントリの表示	<p>目的の電話帳エントリにスクロールして、[ショウサイ] を押します。</p> <p>名前や電話番号のリストなど、電話帳エントリの項目が表示されます。</p>
電話帳からの番号のダイヤル	<ol style="list-style-type: none">1. [デンワチョウ] を押します。2. エントリまでスクロールします。3.  を押して番号をダイヤルします。 電話帳エントリの最初の番号がダイヤルされます。
電話帳からの特定の番号のダイヤル	<ol style="list-style-type: none">1. [デンワチョウ] を押して、エントリにスクロールします。2. [ショウサイ] を押して、目的の電話番号にスクロールします。3.  を押して番号をダイヤルします。
既存の電話帳エントリの編集	<ol style="list-style-type: none">1. [デンワチョウ] を押して、エントリにスクロールします。2. [ショウサイ] を押して、編集するエントリの項目にスクロールします。3. [ヘンシュウ] を押して、P.44 の「テキストの入力と編集」の手順に従います。4. エントリの編集が完了したら OK を押し、[ホゾン] を押します。

電話帳のエントリの追加または変更

新しい電話帳エントリを追加したり、既存のエントリを変更したりするには、[ディレクトリ]メニューを使用します。

目的	操作
電話帳エントリの参照	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]を選択します。 2. [ナマエ]を選択してエントリを表示します。
電話帳エントリの情報の表示	電話帳エントリにスクロールして、[ショウサイ]を押します。
新しい電話帳エントリの追加	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[ツイカ]を選択します。 2. エントリ項目にスクロールして、[センタク]を押します。 3. P.44の「テキストの入力と編集」の手順に従って、名前または電話番号を入力します。 4. 入力が完了したらOKを押し、[ホゾン]を押します。
既存の電話帳エントリの編集	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[ナマエ]を選択します。 2. エントリまでスクロールして、[ショウサイ]を押します。 3. [ジタクノデンワパンゴウ]などの編集項目までスクロールします。 4. P.44の「テキストの入力と編集」の手順に従って項目を編集します。 5. 完了したらOKを押し、[ホゾン]を押します。
電話帳エントリの削除	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[ナマエ]を選択します。 2. エントリまでスクロールし、◀または▶を押して[サクジョ]を表示します。 3. [サクジョ]を押し、OKを押して、電話レコードの削除を確認します。 4. [モドル]を押して[ディレクトリ]メニューに戻ります。

ヒント

- 外部の電話番号を追加する場合は、9などの外部アクセス番号、および1やエリアコードも含めた電話番号全体を入力します。
- 社内ディレクトリを使用するには、P.60の「電話機での社内ディレクトリの使用」を参照してください。
- システム管理者は、7920 設定ユーティリティを使用して、電話帳エントリや短縮ダイヤルエントリを電話機に追加することができます。

テキストの入力と編集

パスワードと電話帳のエントリには、文字、数字、および特殊文字を入力できます。キーボードの数字キーを押すと、そのキーが制御するすべての文字が表示されます。キーを押すたびに、別の文字が表示されます。

目的	操作
文字の入力	1 番目の文字を入力するには数字キーを 1 回、2 番目の文字を入力するには 2 回、3 番目の文字を入力するには 3 回押します。
数字の入力	数字を入力するには、該当の数字キーを 4 回押します。
最後の文字の削除	文字列の最後の文字または数字を削除するには、[クリア] を 1 回押します。
文字列全体の削除	テキストまたは数字の文字列全体を削除するには、[クリア] を押し続けます。
大文字の使用	Ⓢを押して大文字と小文字を切り替えます。画面の右上隅に、大文字か小文字かを示す ABC または abc が表示されます。
スペースの入力	文字間にスペースを入力するには、▶または▼を押します。
特殊文字と記号の入力	Ⓢを押して、次に示す記号画面を表示します。 目的の記号を選択するには、▲、▼、◀、または▶を使用します。 テキストに記号を挿入するには、[ショウ] を押します。
編集モードのキャンセル	メニュー オプションやメイン画面に戻るには、必要に応じて [モドル] を押します。



短縮ダイヤル

短縮ダイヤルでは、インデックス番号を入力する、ボタンを押す、電話スクリーン項目を選択するの3つの方法のいずれかを使用してコールを発信することができます。電話機は設定に応じて、次のような複数の短縮ダイヤル機能をサポートできます。

- 短縮ダイヤルのホットキー
- 短縮ダイヤルと固定短縮ダイヤル
- ファーストダイヤル



- (注)
- 使用する電話機で短縮ダイヤルのホットキーを設定するには、P.45の「短縮ダイヤルホットキーの設定」を参照してください。
 - 短縮ダイヤル機能を設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.63の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。
 - ファーストダイヤルを設定するには、個人ディレクトリ機能にアクセスする必要があります。『*Customizing Your Cisco Unified IP Phone on the Web*』(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_iphone/index.htm)を参照してください。
 - システム管理者が短縮ダイヤル機能を設定することもできます。

短縮ダイヤルホットキーの設定

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 キーパッドの数字キー (2 ~ 9) は、短縮ダイヤル番号にアクセスするホットキーになります。8つの短縮ダイヤルホットキーに電話番号を割り当てることができます。番号1のキーはボイスメッセージシステムへのアクセス用に予約されています。

目的	操作
短縮ダイヤルメニューへのアクセス	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [ディレクトリ] > [デンワチョウ] を選択します。 2. [タンシュク ダイヤル] にスクロールして選択します。短縮ダイヤルのホットキーの一覧が表示されます。 ✓ が付いている短縮ダイヤルホットキーには、電話番号が割り当てられています。
短縮ダイヤルホットキーに割り当てられた電話番号の表示	<ol style="list-style-type: none"> 1. 例 : [メニュー] > [ディレクトリ] > [デンワチョウ] > [タンシュク ダイヤル] を選択します。 2. 目的の短縮ダイヤル < 番号 > にスクロールして、[ショウサイ] を押します。



目的	操作
短縮ダイヤルホットキーへの電話番号の割り当て	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[タンシュクダイヤル]を選択します。 2. 使用可能な短縮ダイヤルのホットキーにスクロールして、[ショウサイ]を押します。 3. [ショウサイ]を押して情報を入力します。P.44の「テキストの入力と編集」を参照してください。 4. OKを押して、短縮ダイヤルを保存します。
短縮ダイヤルホットキーの電話番号の変更	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[デンワチョウ]>[タンシュクダイヤル]を選択します。 2. 設定済みの短縮ダイヤル番号にスクロールして、[ショウサイ]を押します。 3. [ショウサイ]を押して、既存の電話番号を変更またはクリアします。 4. 変更を確認するにはOKを押し、[モドル]を押してメニューを終了します。
短縮ダイヤルホットキーによる電話番号の短縮ダイヤル	<p>使用する短縮ダイヤルのホットキーに対応する②(2～9のキー)を押し続けます。該当のホットキーに保存されている番号が表示され、ダイヤルされます。</p>

ヒント

必要に応じて、9などのプレフィクスやエリアコードも含めて、実際にダイヤルする場合とまったく同じように外部の電話番号を入力する必要があります。

短縮ダイヤルとファーストダイヤルの使用

短縮ダイヤル機能を設定するには、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

目的	操作
短縮ダイヤル番号を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページから短縮ダイヤル番号を設定します。 2. 電話をかけるには、画面の短縮ダイヤル名までスクロールします。 3.  を押します。
固定短縮ダイヤル機能を使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページから固定短縮ダイヤル コードを設定します。 2. コールを発信するには、固定短縮ダイヤル コードを入力し、[タンシュク] を押します。
ファーストダイヤルを使用する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユーザ オプション Web ページからファーストダイヤルサービスに登録し、ファーストダイヤルコードを設定します。P.64 の「電話機サービスへの登録」を参照してください。 2. 電話をかけるには、使用する電話機で、[メニュー] > [サービス] > Fast Dial service を選択します（名前は異なる場合があります）。 3. リストを強調表示し、 を押します。

ヒント

画面に、ユーザ オプション Web ページで設定された短縮ダイヤル番号の最初の数個の名前が表示されます。

電話機のプロファイルの使用

プロファイルを使用すると、Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 の設定を簡単に変更できます。Wireless IP Phone のプロファイルの詳細については、次のセクションを参照してください。

- ユーザ プロファイルの選択 (P. 48)
- ネットワーク プロファイルの変更 (P. 52)

[プロファイル]メニューにアクセスすると、システム管理者の電話機の設定方法によって、画面に「シヨウデキマセン」と表示されることがあります。

ユーザ プロファイルの選択

事前定義されたユーザ プロファイルを使用すると、電話機の呼び出し音やトーンをすぐに変更することができます。さまざまな作業環境に応じて、次のプロファイルを選択することができます。

- ヒョウジュン
- マナー
- カイギ
- アウトドア

ユーザ プロファイル タイプには、次のデフォルト設定があります。

プロファイルのタイプ	スピーカ オンリョウ	ヨビダシ オンリョウ	チャクシン ケイコク	パイブレータ ケイコク	キーパッド トーン	ケイコク シュルイ
ヒョウジュン	3	4	On	Off	Off	Tone
マナー	3	0	Off	Off	Off	Off
カイギ	3	1	On	Off	Off	Off
アウトドア	5	6	On	On	On	Tone

ユーザ プロファイルの変更

事前定義されたユーザ プロファイルを使用すると、電話機の呼び出し音やトーンをすぐに変更することができます。さまざまな作業環境に応じて、次のプロファイルを選択することができます。

- ヒョウジュン
- マナー
- カイギ
- アウトドア

ユーザ プロファイル タイプには、次のデフォルト設定があります。

プロファイル のタイプ	スピーカ オンリョウ	ヨビダシ オンリョウ	チャクシン ケイコク	パイブレータ ケイコク	キーパッド トーン	ケイコク シュルイ
ヒョウジュン	3	4	On	Off	Off	Tone
マナー	3	0	Off	Off	Off	Off
カイギ	3	1	On	Off	Off	Off
アウトドア	5	6	On	On	On	Tone

プロファイルは [プロファイル] メニューから選択でき、デフォルト設定を使用できます。

目的	操作
アクティブなユーザ プロファイルの表示	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [サービス] を選択します。 2. [パスワード] にスクロールして、[センタク] を押します。 アクティブなプロファイルの横には✓が付いています。
異なるプロファイルを選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー] > [サービス] を選択します。 2. [パスワード] にスクロールして、[センタク] を押します。 3. 異なるプロファイルにスクロールし、[センタク] を押してそのプロファイルの設定にアクセスします。 4. [アクティベート] を選択してプロファイルを変更します。新しいプロファイルの隣に✓が表示されます。 5. [モドル] を押してメニューに戻ります。

ユーザ プロファイルの設定の変更

アクティブなプロファイルに対するこれらのユーザ プロファイルの設定は、変更することができます。変更後は、新規プロファイルをアクティブにする必要があります。P.49の「異なるプロファイルを選択する」を参照してください。

目的	操作
スピーカ音量の変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザプロファイル]を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。2. [スピーカ オンリョウ]にスクロールして選択します。3. ▶を押してボリュームを上げるか、◀を押してボリュームを下げます。4. [モデル]を押して、変更します。
呼出音の音量の変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザプロファイル]を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。2. [ヨビダシ オンリョウ]にスクロールして選択します。3. ▶を押してボリュームを上げるか、◀を押してボリュームを下げます。[モデル]を押して、変更を確認します。
着信コールアラートの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザプロファイル]を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。2. [チャクシンケイコク]にスクロールして選択します。3. [オフ]または[オン]にスクロールして選択し、着信コールアラート機能を制御します。
バイブレーションコールアラートの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザプロファイル]を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。2. [バイブレータケイコク]にスクロールして、選択します。3. [オフ]または[オン]にスクロールして選択し、バイブレーションコールアラート機能を制御します。
キーパッドトーンの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザプロファイル]を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。2. [キーパッドトーン]にスクロールして選択します。3. [オフ]または[オン]にスクロールして選択し、キーパッドトーン機能を制御します。

目的	操作
警告スタイルの変更	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[プロファイル]>[ユーザ プロファイル] を選択して、アクティブなプロファイルを選択します。 2. [ケイコク シュルイ] にスクロールして選択します。 3. 次のいずれかにスクロールします。 オフ：警告メッセージを送信しません。 トーン：警告メッセージとともに音を発します。 バイブレータ：警告メッセージとともに振動します。 4. [センタク] を押して、警告スタイルを変更します。

ヒント

- 弱い信号やバッテリー低下を検出すると、電話機に警告メッセージが表示され、警告トーンが送信されるか、電話機が振動します。
- アクティブなプロファイル設定の隣に が表示されます。
- 電話機の電源をオフにした後もスピーカ音量の設定を維持するには、アクティブなプロファイルの音量を変更します。

ネットワーク プロファイルの変更

ネットワーク プロファイルは、Wireless Local Area Network (WLAN; 無線 LAN) へのアクセス、およびシステムにおける認証と暗号化についての事前定義された設定を提供します。システム管理者がネットワーク プロファイルを定義します。複数のネットワーク プロファイルを利用することができるため、異なる SSID または認証タイプを使用する場所で WLAN 設定 にアクセス可能な場合があります。

Cisco Unified Wireless IP Phone 7920 では、4 つまでのネットワーク プロファイルを指定できます。自動的にプロファイルをスキャンし、WLAN 固有の正しい SSID をもつネットワーク プロファイルを選択するように電話機を設定できます。



(注) 追加のネットワーク プロファイルが必要かどうか、またはプロファイルの設定を変更する必要があるかどうかについては、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作
アクティブなネットワーク プロファイルを表示する	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] > [プロファイル] を選択します。2. [ネットワーク プロファイル] にスクロールして、[センタク] を押します。 アクティブなプロファイルの横には✓が付いています。
プロファイルをスキャンして WLAN に自動的に接続する	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] > [プロファイル] > [ネットワーク プロファイル] を選択します。2. [ジドウ] までスクロールし、[センタク] を押します。3. [アクティベート] を選択してプロファイルを変更します。 [ジドウ] の横に✓が表示されます。4. [モデル] を押してメニューに戻ります。
異なるプロファイルを選択する	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] > [プロファイル] > [ネットワーク プロファイル] をセンタクします。2. 異なるプロファイルまでスクロールし、[センタク] を押して、そのプロファイルの設定を使用します。3. [ヘンコウノテキヨウ] を選択します。アクティブなプロファイルの隣に✓が表示されます。

ヒント


- [ネットワーク プロファイル] > 「アクティブなプロファイル」 > [802.11b セッテイ] > EAP を選択して、EAP のユーザ名とパスワードを入力または変更できます。P.11 の「ユーザ名とパスワードの設定」を参照してください。
- 最初にシステム管理者に問い合せてから、ネットワーク プロファイルの設定の変更を行ってください。
- システム管理者に問い合せると、[ネットワーク プロファイル]メニューのメニュー オプションおよび設定について詳しい情報がわかります。


電話設定の使用

呼出音、電話スクリーン、および電話ロック設定を調整して、Cisco Unified Wireless IP Phone を個人設定できます。

呼び出しのカスタマイズ

呼び出しトーンや画面の設定などの設定を調整することにより、電話機をカスタマイズすることができます。

目的	操作
回線ごとに呼出音を変更する	<ol style="list-style-type: none"><li data-bbox="384 675 1213 732">1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[ヨビダシオントーン]>[ヨビダシオントーンノセンタク]を選択します。<li data-bbox="384 748 1213 776">2. 電話回線またはデフォルトの呼出音の設定を選択します。<li data-bbox="384 792 1213 820">3. 呼出音を選択して、サンプルを再生します。 選択した呼び出しトーンが再生され、その横に✓が表示されます。<li data-bbox="384 894 1213 922">4. [モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。 <p data-bbox="422 943 1213 1052"> (注) <u>2 つのデフォルトの呼び出しトーン、およびユーザがダウンロードした1つの呼び出しトーンの中から選択できます。</u></p>

目的	操作
Cisco Unified CallManagerからの呼び出しトーンのダウンロード	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[ヨビダシオントーン]を選択します。 2. [ヨビダシオントーンノダウンロード]までスクロールして選択します。 3. リストで目的の呼び出しトーンにスクロールして、選択します。 4. ▶を押して[サイセイ]を表示し、そのキーを押して選択した呼び出しトーンを聞きます。 ダウンロードした呼び出しトーンの横に✓が表示されます。 5. [モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。 <p> (注) ダウンロードした呼び出しトーンが電話機の呼び出しトーンのリストに表示されません。</p>
ヘッドセットの呼出音を選択する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[ヨビダシオントーン]を選択します。 2. [出力]までスクロールして選択します。 3. スピーカまたはヘッドセットの呼出音出力までスクロールして選択します。 選択した出力の横に✓が表示されます。 4. [モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。
電話機の呼出音の音量レベルを調節する	P.50の「ユーザプロファイルの設定の変更」を参照してください。

ヒント

- プロファイルを設定するメニューにアクセスすると、システム管理者の電話機の設定方法によって、画面に電話ステータスしか表示されないことがあります。
- 場合によっては、ユーザオプション Web ページの[電話の呼び出し音設定を変更]にアクセスする前に、システム管理者が電話機でこのオプションを有効にする必要があります。
- ユーザオプション Web ページからは、Cisco Unified Wireless IP Phone の呼出音パターンまたはメッセージ受信インジケータの設定を変更できません。


電話スクリーンのカスタマイズ

電話スクリーンの特徴とメッセージを調整することができます。

目的	操作
電話画面の起動メッセージの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[グリーティング メッセージ]を選択します。2. [ヘンシュウ]を押します。3. メッセージを 15 文字以内で入力します。P.44 の「テキストの入力と編集」を参照してください。4. OK を押して変更内容を保存し、[モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。
メインの電話画面メッセージの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[ショキガメン メッセージ]を選択します。2. [ヘンシュウ]を押します。3. メッセージを 10 文字以内で入力します。P.44 の「テキストの入力と編集」を参照してください。4. OK を押して変更内容を保存し、[モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。
電話画面のバックライトの変更	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[バックライト]を選択します。2. [オフ]または[オン]までスクロールして、[センタク]を押します。
電話画面のフォントを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[フォント]を選択します。2. XML または [インターナル]までスクロールして、[センタク]を押します。
行テキストのラベルを変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。2. 行ラベルの設定を変更します。
電話スクリーンの言語を変更する	<ol style="list-style-type: none">1. ユーザ オプション Web ページにログインします。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。2. 言語の設定を変更します。

電話ロックの設定の変更

電話ロック機能を有効にすることによって電話機へのアクセスを保護することができます。電話機の電源をオンにした後で、電話機が無線ネットワークで認証する前に、パスワードを入力する必要があります。





目的	操作
電話機の電源をオンにするとロック解除するパスワードの入力を要求する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[デンワロック]を選択します。 2. [オン/オフ]までスクロールして選択します。 3. 次のいずれかの操作を実行してから、[センタク]を押します。 <ul style="list-style-type: none"> • [オフ]までスクロールして電話ロックを無効にします。 • 電話ロックのパスワードを要求する場合は、[オン]にします。
電話ロックのパスワードを変更する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワノセッテイ]>[デンワロック]を選択します。 2. [パスワード]までスクロールして選択します。 3. [ヘンシュウ]を押して電話ロックのパスワード(*や#を含む10文字まで)を入力します。 4. OKを押して変更内容を確認し、[モドル]を押して[デンワノセッテイ]に戻ります。 <p> (注) デフォルトのパスワードは、12345 に設定されています。</p>

ヒント

- 電話ロック機能が有効でパスワードを変更していない場合、12345（デフォルトのパスワード）を入力し、電話ロックを解除します。
- 電話ロックのパスワードを変更して忘れた場合、システム管理者に連絡して電話ロックを解除しリセットしてもらいます。個人設定および電話帳エントリがすべて削除されます。

キーボードの自動ロック設定

一定時間が経過するとキーボードが自動的にロックされるように電話機を設定できます。

目的	操作
電話機の使用後にキーボードを自動的にロックする	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] [デンワノセッテイ] [ジドウキーロック] を選択します。2. 次の時間間隔のいずれかまでスクロールして選択します。<ul style="list-style-type: none">• ジドウ 15 ビヨウ• ジドウ 30 ビヨウ• ジドウ 60 ビヨウ <p> (注) [ジドウキーロック] オプションの下の <input checked="" type="checkbox"/> に、選択した間隔が表示されます。</p>
キーボードのロック解除	<ol style="list-style-type: none">1.  キーを押し続けます。 画面に「キーロックオフ？」と表示されます。2. OK を押すと  アイコンが消えます。
自動キーボードロックをオフにする	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] [デンワノセッテイ] [ジドウキーロック] を選択します。2. [オフ] までスクロールして選択します。 <p> (注) [ジドウキーロック] オプションの下の [オフ] の横に、<input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。</p>

ヒント


- 誤ってキーを押したりコールをリダイヤルしたりするのを防止するには、自動キーロック機能を使用します。
- 自動ロック機能は、電話機がアイドル状態で、メイン画面が表示されている場合にのみ有効になります。

履歴およびディレクトリの使用

この項では、履歴とディレクトリの使用方法について説明します。メニューを使用してそれらの機能にアクセスします。

履歴の使用

電話機には、コールに関する不在履歴、発信履歴、および着信履歴が記録されています。

目的	操作
履歴を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワリレキ]を選択します。 2. [フザイリレキ][チャクシンリレキ] または [ハッシンリレキ] にスクロールして選択します。 3. 該当の番号にスクロールして、[ショウサイ]を押し、通話の情報を参照します。
履歴を削除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワリレキ]を押します。 2. [デンワリレキノショウキョ]にスクロールして選択します。 3. OK を押します。この操作により、すべての履歴のすべてのレコードが消去されます。または、[キャンセル]を押します。
履歴からダイヤルする (別のコールに接続されていない場合)	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[デンワリレキ]を選択します。 2. [フザイリレキ][チャクシンリレキ] または [ハッシンリレキ] にスクロールして選択します。 3. ダイヤルする番号にスクロールして、[ショウサイ]を押します。 4. 表示された番号を編集する(プレフィックスの追加や削除など)には、[ヘンシュウ]を押し、次に◀または▶を押してカーソルの位置を変更します。キーボードを使用して数字を入力するか、[クリア]を押して番号を削除します。 5.  を押して番号をダイヤルします。


ディレクトリからのダイヤル

設定によっては、自分の電話機から、個人の電話帳、社内ディレクトリ、および個人ディレクトリ機能にアクセスできます。

- 電話帳：電話機に設定する個人的な連絡先。詳細については、P.42 の「電話帳の使用方法」を参照してください。
- 社内ディレクトリ：電話機でアクセスできる企業内の連絡先です。社内ディレクトリは、システム管理者によって設定、管理されます。
- 個人ディレクトリ：用意されている場合、個人が設定できる個人の連絡先とそれに対応する短縮ダイヤルコードです。電話機やユーザ オプション Web ページからアクセスできます。個人ディレクトリは、個人アドレス帳（PAB）とファースト ダイヤルで構成されます。
 - PAB は、個人用連絡先のディレクトリです。
 - ファースト ダイヤルでは、PAB エントリにコードを割り当てて、すばやくダイヤルすることができます。

電話機での社内ディレクトリの使用

社内ディレクトリを使用して、同僚にコールを発信できます。

目的	操作
社内ディレクトリからダイヤルする（別のコールに接続されていない場合）	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー]>[ディレクトリ]>[シャナイディレクトリ]（名前は異なる場合があります）を選択します。2. キーパッドを使用して名前を入力します。3. [ケンサク]を押します。4. リストまでスクロールし、[ダイヤル]または  を選択します。

ヒント

電話スクリーンでの文字入力には、キーパッドの数字を使用します。入力フィールド間を移動するには、電話機のナビゲーション ボタンを使用します。

電話機での個人ディレクトリの使用

個人ディレクトリ機能は、個人アドレス帳（PAB）とファースト ダイヤルで構成されます。個人ディレクトリの設定と使用の方法については、『Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』


(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphone/index.htm) を参照してください。

ボイス メッセージへのアクセス

電話機に「ボイスメールアリ」と表示された場合は、[メッセージ]メニューまたはショートカットキー ① を使用してメッセージにアクセスできます。



(注) お使いの電話機システムが使用するボイス メッセージ サービスは、会社によって決定されます。詳細については、ボイス メッセージ サービスに付属のマニュアルを参照してください。

目的	操作
ボイス メッセージ サービスの個人設定を行う	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[メッセージ]を押します。 2. [ボイスメールボックス]を選択して音声ガイダンスに従います。 ボイス メッセージ サービスのデフォルトのパスワードは、システム管理者が用意します。
新しいボイスメッセージの着信を確認する	電話機に表示されるインジケータ：電話スクリーンには、メッセージ受信アイコン  とテキスト メッセージが表示されます。
ボイス メッセージを聞く、またはボイス メッセージメニューにアクセスする	<ol style="list-style-type: none"> 1. [メニュー]>[メッセージ]を押します。 2. [ボイスメールボックス]を選択して音声ガイダンスに従います。 3. パスワードを入力し、音声ガイダンスに従ってメッセージを聞きます。
ショートカットキーを使用したボイスメッセージへのアクセス	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタンバイ モードの場合は、① を押して離すとすぐにアクセスできます。 2. ボイス メッセージのパスワードを入力します。 3. 音声の指示に従ってメッセージを聞きます。
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	<p>[ソクテンソウ]を押します。</p> <p>コール（呼び出し中や保留中のものも含む）がボイス メッセージ システムに自動転送されます。発信者はボイス メッセージの内容を聞いて、メッセージを残すことができます。</p>

ユーザ オプション Web ページへのアクセス

Cisco Unified Wireless IP Phone はネットワーク デバイスであるため、社内の他のネットワーク デバイスと情報を共有することができます。この中には、コンピュータの Web ブラウザを使用してアクセスできる Web ベースのサービスも含まれます。

Cisco CallManager のユーザ オプション Web ページを使用すると、コンピュータで電話機サービスの設定、および設定や機能の制御を行うことができます。これらの機能やサービスを Web ページで設定しておく、電話機でアクセスできるようになります。

たとえば、短縮ダイヤル ボタンを Web ページから設定したら、それ以降、それらのボタンには電話機でアクセスできます。

この項では、ユーザ オプション Web ページへのアクセス方法、および電話機サービスの登録方法について説明します。設定できる機能および登録できる電話機サービスの詳細については、『*Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ*』

(http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm) を参照してください。

ユーザ オプション Web ページへのログイン

手順

ステップ 1 ユーザ オプション の URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。

ステップ 2 コンピュータで Web ブラウザを起動し、システム管理者から提供された URL を入力してログインします。

ステップ 3 総合メニューのデバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ（電話機のモデル）を選択します。

選択したデバイス タイプに対応したオプションが、コンテキスト メニューに表示されます。

ユーザ オプション Web ページのナビゲートに関するヒント

- 該当するオプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- コンテキスト メニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。
- ユーザ オプション ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。

電話機サービスへの登録

電話機から登録電話機サービスにアクセスするには、まずコンピュータでユーザ オプション Web ページにアクセスし、電話機サービスに登録する必要があります。P.63 の「ユーザ オプション Web ページへのログイン」を参照してください。

電話機サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話機の機能（ファースト ダイヤル サービス、個人アドレス帳など）

詳細については、次の表を参照してください。

目的	ログインしてデバイス タイプを選択した後の操作
サービスに登録する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューから[Cisco IP Phone サービスの設定]を選択します。2. [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。3. 指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力します。4. [登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	<ol style="list-style-type: none">1. メイン メニューから[Cisco IP Phone サービスの設定]を選択します。2. [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックします。3. 登録内容を変更して[更新] をクリック、または[登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	<ol style="list-style-type: none">1. [メニュー] を押します。2. [サービス] を選択します。3. 必要なサービスまでスクロールし、[センタク] を押します。
電話機サービスの利用方法を調べる	次の URL の『 Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ』を参照してください。 http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm

その他の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されているユーザガイドやその他のマニュアルには、http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/voice/c_ipphon/index.htm からアクセスできます。

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話回線が1本では足りない	追加の電話番号の設定をシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
電話機が呼び出し中または使用中のときに表示する、[ミュート]や[ソクテンソウ]などの別のソフトキーを使用する必要がある。	新しいソフトキー テンプレートを設定してユーザの電話機に割り当てるようシステム管理者に依頼します。	システム管理者または電話機のサポート チームにお問い合わせください。
短縮ダイヤル番号が足りない	まず、現在利用可能な短縮ダイヤル番号をすべて使用しているかどうかを確認します。 追加の短縮ダイヤル ボタンが必要な場合は、固定短縮ダイヤル機能の使用またはファースト ダイヤル サービスへの登録を検討してください。	次の説明を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> 短縮ダイヤル (P 45) 電話機サービスへの登録 (P 64)

目的または状態	操作	参照先または問い合わせ先
1つの電話番号を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの番号を卓上の電話機と Cisco Unified Wireless IP Phone で使用することができます。	P.35の「共有回線の使用」を参照してください。
電話機やオフィススペースを同僚と共有している	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク: 転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ: 別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線: 同僚のコールを表示またはそれに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ: 自分の電話番号とユーザ プロファイルを共有の電話機に適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • パークされているコールの保存と取得 (P 38) • 共有回線の使用 (P 35) • 『<i>Customizing Your Cisco Unified IP Phone on the Web</i>』の「Using the Extension Mobility Service」の項
頻繁にコールに応答する、または他の人の代理でコールを処理する	電話機の自動応答機能を設定するように、システム管理者に依頼します。	P.25の「コールへの応答」を参照してください。
自分の電話番号と設定を共有の Cisco IP Phone に一時的に適用する	Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。	『 <i>Customizing Your Cisco Unified IP Phone on the Web</i> 』の「Using the Extension Mobility Service」の項を参照してください。

電話機のトラブルシューティング

この項では、Cisco IP Phone のトラブルシューティングに関する情報を記載します。

一般的なトラブルシューティング

この項では、電話機に関する一般的な問題の解決に役立つ情報について説明します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

症状	説明
コールを完了できない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクステンション モビリティ サービスにログインする必要があります。 • CMC または認証に必要な FAC を入力してから番号をダイヤルする必要があります。 • 電話機に時間制限が設定されていて、一日の特定の時間帯に一部の機能が使用できなくなっています。
設定メニューが反応しない	システム管理者が、電話機の設定機能を無効にした可能性があります。
使用するソフトキーが表示されない	<p>次の状況の 1 つまたは複数当てはまります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ▶を押して、その他のソフトキーを表示する必要があります。 • 回線状態を変更する必要があります(たとえば、電話をかけるか、コールを接続するなど)。 • そのソフトキーに対応する機能をサポートするように電話機が設定されていません。
[サンカ]に失敗する	[サンカ]を実行するには、複数のコールを選択する必要があります。アクティブコールは自動的に選択されるので、それ以外に、少なくとも1つのコールが選択されていることを確認してください。また [サンカ]を実行するには、選択されたコールがすべて同じ回線上にある必要があります。必要に応じて、[サンカ]を実行する前にコールを1本の回線上に転送してください。

症状	説明
[ワリコミ]に失敗し、速いビジー音が聞こえる	使用している電話機に暗号化機能が設定されていない場合、暗号化されたコールには割り込みできません。この理由によって割り込みの試行が失敗すると、電話機で速いビジー音が聞こえます。
[ワリコミ]を使用して参加したコールが切断される	コールが保留状態になるか、転送されるか、または電話会議に切り替えられた場合、[ワリコミ]を使用して参加しているコールから、ユーザは切断されます。
Cisco CallBack が失敗する	通話相手がコール転送機能を有効にしている可能性があります。

電話管理データの表示

システム管理者からの依頼で、トラブルシューティングのために、電話機の管理データにアクセスする必要が生じることがあります。

目的	操作
ネットワーク構成データにアクセスする	[メニュー]>[ネットワークノセッテイ]を選択し、表示するネットワーク設定項目を選択します。
ステータスデータにアクセスする	[メニュー]>[デンワノセッテイ]>[デンワステータス]を選択し、表示するステータス項目を選択します。
無線ネットワーク情報へのアクセス	[メニュー]>[ネットワークノセッテイ]>[802.11b セッテイ]を選択し、表示する無線ネットワーク情報を選択します。
電話のコールと音声品質情報にアクセスする	[メニュー]>[デンワノセッテイ]>[デンワステータス]>[コールノウケイ]を選択します。

Quality Reporting Tool の使用方法

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT) が設定されることがあります。[ヒンシツ]を押して、情報をシステム管理者に送信できます。設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声の問題をすぐにレポートする
- カテゴリのリストから一般的な問題を選択し、理由コードを選択する

シスコ製品（ハードウェア）に関する 1 年間の限定保証規定

保証期間内にお客様が受けられるハードウェアの保証およびサービスに関して適用される特別な条件があります。シスコのソフトウェアに適用される保証を含む正式な保証書は、Cisco Documentation CD および Cisco.com から参照できます。次の手順を実行して CD から、あるいは Cisco.com から *Cisco Information Packet*、および保証書にアクセスし、これらをダウンロードしてください。

1. ブラウザを起動し、次の URL に進みます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpk/cetrans.htm

Warranties and License Agreements ページが表示されます。

2. *Cisco Information Packet* を表示するには、次の手順を実行します。

- a. **Information Packet Number** フィールドをクリックし、製品番号 78-5235-03B0 が選択されていることを確認します。
- b. 文書を表示する言語を選択します。
- c. **Go** をクリックします。
- d. Information Packet の Cisco Limited Warranty and Software License ページが表示されます。
- e. このページから文書をオンラインで見るとも、**PDF** アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。



(注) PDF ファイルを表示し、印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは、Adobe の Web サイト <http://www.adobe.com> からダウンロードできます。

3. お手持ちの製品について、翻訳またはローカライズされた保証情報を表示するには、次の手順を実行します。
 - a. Warranty Document Number フィールドに、次の製品番号を入力します。
78-10747-01C0
 - b. 文書を表示する言語を選択します。
 - c. **Go** をクリックします。
Cisco warranty ページが表示されます。

- d. このページから文書をオンラインで見るとも、PDF アイコンをクリックして、文書を PDF (Adobe Portable Document Format) 形式でダウンロードし、印刷することもできます。

また、Cisco Service and Support の Web サイトにアクセスして、サポートを受けることもできます。

http://www.cisco.com/public/Support_root.shtml

ハードウェア保証期間

1 年間

ハードウェアに関する交換、修理、払い戻しの手順

シスコ、またはその代理店では、Return Materials Authorization (RMA) 要求を受領してから、10 営業日以内に交換部品を出荷するように商業上合理的な努力をいたします。お届け先により、実際の配達所要日数は異なります。

シスコは購入代金を払い戻すことにより一切の保証責任とさせて頂く権利を留保します。

Return Materials Authorization (RMA) 番号の入手

製品を購入されたシスコの代理店にお問い合わせください。製品を直接シスコから購入された場合は、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

次の項目を記入して、参照用に保管してください。

製品の購入先	
購入先担当者の電話番号	
製品モデル番号	
製品シリアル番号	
メンテナンス契約番号	



Index

C

Cisco Unified Wireless IP Phone

- アクセサリ 12
- 安全と性能 3
- 規制国 2
- クリーニング 19
- 接続 7
- 電源 5
- 電源をオン 10
- 登録 12
- トラブルシューティング 67
 - ～の Web ベースのサービス 62
 - ～の機能の設定 21, 65
 - ～の説明 14
- プロファイルのオプション 48
- ボタンとキー 15
- メニュー 19

C ワリコミ

- 使用方法 36
- 「割り込み」も参照

M

- Malicious Call Identification (MCID) 38
- Meet-Me 会議 31, 33
- MLPP、使用 39

Q

- Quality Reporting Tool (QRT)、使用 68

T

- TAPS、使用 12
- Tool for Auto-Registered Phones Support 12

W

- WebDialer 23

あ

- アイコン、コールの状態を示す 20
- アクセシビリティ 6
- 安全と性能 3

い

- インストール、Cisco Unified Wireless IP Phone 7

え

- エクステンション モビリティ
 - 使用方法 24, 40
 - ログアウト 40

ログイン	40	~の追加	65
		~の能力	21
お		共有回線	
オリカエシ	24	~の説明	35
音声品質データ、~へのアクセス	68	プライバシーの使用	37
音量		リモートで使用中のメッセージ	35
スピーカの調節	18	割り込みの使用	36
調節	54	切り替え、コールの	27
か		け	
会議コール		警告	3
Meet-Me	31, 33		
標準	31	こ	
回線		コール	
~の説明	20	応答	25
表示	17	回線との違い	20
課金コード、~を使用してダイヤル	24	終了	26
		選択	20
		転送	28, 30
		~のアイコン	20
		~の会議機能	31
		~の複数の通話相手	31
		パーク	38
		発信	22, 23
		複数の処理	27
		保存と取得	38
		保留と復帰	26
		ミュート	27
		優先順位付け	39
		呼び出し中のリダイレクト	25
		コール ウェイティング	25
		コール パーク	38
き			
キーパッド ロック			
キーパッドのロック	18		
キーパッドのロック解除	18		
キーパッドのショートカット	18		
キーパッドのロック			
キーパッドのロック解除	58		
自動キーロック機能	58		
自動キーロックの設定	58		
キーロック	18		
規制国	2		
機能			
アクセシビリティ	6		

コール処理、応用的な 34
 コール処理、基本的な 22
 コール転送 30
 コールへの応答 25
 個人アドレス帳 (PAB)
 ~ からダイヤル 24
 ~ への登録 64

さ

サービス、~への登録 64

し

自動キーロック 58
 社内ディレクトリ
 使用方法 60
 ~の Web ページからダイヤル 23
 終了、コールの、~のオプション 26

す

ステータス データ、~へのアクセス 68
 ステータス行、表示 17
 スピーカの音量 18

せ

切断、~のオプション 26
 選択、コールの 20

そ

ソフトキー
 右と左 17
 ラベル 17, 42
 ソフトキー ボタン
 ~のラベル 17

た

ダイヤル、~のオプション 22, 23
 短縮ダイヤル
 オプション 45
 キーパッドによるアクセス 18
 番号の使用 47
 ファースト ダイヤルの使用 47
 ホットキーの使用 46
 ホットキーの設定 45

ち

着信履歴、~のレコード 59

て

停電 5
 ディレクトリ
 オプションの説明 60
 個人、使用 60
 社内、使用 60
 ~の Web ページからダイヤル 23
 メニュー 41
 電源 5
 電源をオン 10

転送、コールの、~のオプション	30	と	
転送、~のオプション	28	トラブルシューティング、~用のデータ	67
電話回線		な	
~の説明	20	内線番号、表示	17
表示	17	ね	
電話機のアクセサリ	12	ネットワーク プロファイル	
電話機のプロファイル		選択	52
ネットワーク プロファイル	52	表示	52
ネットワーク プロファイル、選択	52	ネットワーク構成データ、~へのアクセス	68
ユーザ	48, 49		
ユーザ プロファイル、選択	48, 49	は	
ユーザ プロファイルのオプション	50	バイブレーション モード	
ユーザ プロファイルの設定、変更	50	設定	18
電話機のボタン		アイコン	18
ショートカット	18	パスワード	
電話機のボタン、使用	18	EAPの変更	53
電話スクリーン		設定	11
クリーニング	19	電話ロック	57
~の機能	17	ネットワーク EAP	11
バックライトの変更	56	発信、コールの、~のオプション	22, 23
フォントの変更	56	発信履歴、~のレコード	59
メッセージの変更	56	バッテリー	
電話のボタン		安全上の注意事項	4
説明	15	充電	9
電話メニュー	19	取り付け	7
電話履歴		取り外し	7
表示とダイヤル	59		
メニュー オプション	59		
電話ロック			
パスワード	57		
パスワードの設定	57		

- ふ
 - ファーストダイヤルサービス
 - ～への登録 64
 - ～を使用してダイヤル 24
 - 複数のコール、処理 27
 - 不在履歴、～のレコード 59
 - 不審なコール、トレース 38
 - 復帰、使用 26
 - プライバシー
 - 使用方法 37
 - ～と共有回線 35
- へ
 - ヘッドセット
 - 外部デバイスの使用 6
 - 使用方法 12
 - 数量 12
 - 注文方法 13
 - 呼出音の音量の選択 54
- ほ
 - ボイスメッセージ
 - インジケータ 61
 - ショートカット 18
 - ～へのアクセス 61
 - 保証
 - ハードウェア 69
 - 用語の説明 69
 - 保留
 - 使用方法 26
 - ～とコールの切り替え 27
- ～と転送 28
- み
 - ミュート、使用 27
- む
 - 無線ネットワーク データ、～へのアクセス 68
- ゆ
 - ユーザ オプション Web ページ
 - ～と電話機サービス 64
 - ～へのアクセス 62
 - 優先順位付け、コールの 39
- よ
 - 呼出音
 - 音量 54
 - 呼び出しトーン
 - 回線ごとに選択 54
 - ダウンロード 54
 - 変更 54
- り
 - リダイヤル 22
 - リモートで使用、共有回線の 35
 - 履歴
 - 削除 59
 - 表示とダイヤル 59

わ

割り込み

使用方法 36

~と共有回線 35

~とプライバシー 37

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Cisco Systems has more than 200 offices in the following countries. Addresses, phone numbers, and fax numbers are listed on the Cisco Website at www.cisco.com/go/offices

Argentina • Australia • Austria • Belgium • Brazil • Bulgaria • Canada • Chile • China PRC • Colombia • Costa Rica • Croatia • Cyprus • Czech Republic • Denmark • Dubai, UAE • Finland • France • Germany • Greece • Hong Kong SAR • Hungary • India • Indonesia • Ireland • Israel • Italy • Japan • Korea • Luxembourg • Malaysia • Mexico • The Netherlands • New Zealand • Norway • Peru • Philippines • Poland • Portugal • Puerto Rico • Romania • Russia • Saudi Arabia • Scotland • Singapore • Slovakia • Slovenia • South Africa • Spain • Sweden • Switzerland • Taiwan • Thailand • Turkey • Ukraine • United Kingdom • United States • Venezuela • Vietnam • Zimbabwe

CCSP, CCVP, Cisco Square Bridge のロゴ、Follow Me Browsing、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. 商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, FormShare, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networkers のロゴ、Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、および TransPath は、米国および一部の国の Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもので、「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0601R)

Copyright © 2006, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501